

一般演題プログラム

(ワークショップ・一般演題(口演))

*本号(()内)のページ数を掲載しております。

ワークショップ		プログラム/抄録	
11月28日(木)	ワークショップ1(基・B) Workshops by new investigators	15:40 ~ 17:10	P.53 P.197
11月29日(金)	ワークショップ2(基・B) 次世代研究者によるワークショップ	8:20 ~ 10:20	P.54 P.200
一般演題(口演)		プログラム/抄録	
11月28日(木)	□演1(臨・C) エイジング・メンタルヘルス	8:30 ~ 9:18	P.55 P.204
	□演2(基・B) 免疫・ワクチン・リザーバー	9:20 ~ 10:00	P.55 P.207
	□演3(社・S) 検査・相談・カウンセリング	10:20 ~ 11:00	P.56 P.209
	□演4(臨・C) 日和見感染・悪性腫瘍・肝炎	11:10 ~ 11:58	P.57 P.212
	□演5(臨・C) 看護・長期療養・チーム医療①	13:30 ~ 14:10	P.58 P.215
	□演6(社・S) 政策・医療体制・ソーシャルワーク	13:30 ~ 14:10	P.58 P.217
	□演7(臨・C) 看護・長期療養・チーム医療②	14:20 ~ 15:00	P.59 P.220
	□演8(臨・C) U=Uと拳児希望・母子感染・歯科	14:20 ~ 15:08	P.60 P.222
	□演9(臨・C) 抗HIV療法①	15:30 ~ 16:18	P.61 P.225
	□演10(臨・C) 抗HIV療法②	16:20 ~ 17:00	P.61 P.228
	□演11(臨・C) PEP・PrEP・STI・STD①	17:40 ~ 18:20	P.62 P.231
	□演12(臨・C) PEP・PrEP・STI・STD②	18:30 ~ 19:18	P.63 P.233
11月29日(金)	□演13(社・S) 薬害①	8:30 ~ 9:10	P.63 P.236
	□演14(社・S) 薬害②	9:20 ~ 9:52	P.64 P.239
	□演15(臨・C) 薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス	14:30 ~ 15:10	P.65 P.241
	□演16(臨・C) PEP・PrEP・STI・STD③	15:20 ~ 16:00	P.65 P.243
	□演17(基・B) レトロウイルス・MPOX	16:10 ~ 16:42	P.66 P.246
	□演18(基・B) COVID-19	16:50 ~ 17:38	P.66 P.248
11月30日(土)	□演19(社・S) 薬物使用・陽性者支援	8:20 ~ 9:00	P.67 P.251
	□演20(社・S) MSM・PrEP	9:10 ~ 9:50	P.68 P.253
	□演21(基・B) 疫学・病態・薬剤耐性	10:00 ~ 10:40	P.68 P.256
	□演22(基・B) 複製・感染機構	10:50 ~ 11:30	P.69 P.258

■日時：11月28日（木） 15:40～17:10

■会場：第2会場（4F 錦）

ワークショップ1（基・B）

Workshops by new investigators

座長 岩谷靖雅

（（独）国立病院機構名古屋医療センター）

芳田 剛

（国立感染症研究所）

WS1-1 Inhibitory Effect of CCR5 on HIV-1 at the Late Stage of Replication

Joyce Appiah Kubi¹⁾、
Kazuaki Monde¹⁾、Yosuke Maeda¹⁾、
Hiromi Terasawa¹⁾、Yuzhe Yuan²⁾、
Shinji Harada¹⁾、Keisuke Yusa²⁾

1) Kumamoto University

2) Section for Viral Safety, Division of Cell-Based Therapeutic Products, National Institute of Health Sciences

WS1-2 HIV-Tocky system in primary CD4⁺T cells joined with transcriptomic and epigenomic analysis to discover mechanism involves in the establishment of latency

Wajihah Sakhor¹⁾、Kenji Sugata¹⁾、
Benjy Jek Yang Tan¹⁾、
Kazuaki Monde²⁾、Chihiro Motozono¹⁾、
Ryusho Kariya¹⁾、Omnia Reda^{1,3)}、
Akhinur Rahman¹⁾、Misaki Matsuo¹⁾、
Hitomi Nakamura⁴⁾、Seiji Okada¹⁾、
Takamasa Ueno¹⁾、Yasuko Sagara⁴⁾、
Hiroaki Takeuchi⁵⁾、Masahiro Ono⁶⁾、
Kenji Maeda⁷⁾、Yorifumi Satou¹⁾

1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan

2) Department of Microbiology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, Japan.

3) Microbiology Department, High Institute of Public Health, Alexandria University, Egypt

4) Department of Quality, Japanese Red Cross Kyushu Block Blood Center, Chikushino, Japan.

5) Department of Molecular Virology, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan

6) Department of Life Sciences, Imperial College London, United Kingdom

7) Division of Antiviral Therapy, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kagoshima University, Japan

WS1-3 Lenacapavir (GS-6207), a novel potent capsid inhibitor, inhibits viral infectivity by changing the morphology of virus-like-particle

Wright Ofotsu Amesimeku¹⁾、
Shinichiro Nishimura⁴⁾、Nami Monde¹⁾、
Hiromi Terasawa¹⁾、Perpetual Nyame¹⁾、
Md. Jakir Hossain¹⁾、Joyce Appiah-Kubi¹⁾、
Motohide Takahashi⁴⁾、Terumasa Ikeda³⁾、
Tomohiro Sawa¹⁾、Yosuke Maeda¹⁾、
Yasumasa Iwatani²⁾、Kazuaki Monde¹⁾

1) Department of Microbiology, Kumamoto University

2) Division of Basic Medicine, Nagoya University Graduate School of Medicine

3) Division of Molecular Virology and Genetics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

4) Biological Toxins and Antitoxins Joint Research Course, Kumamoto Health Sciences University

WS1-4 Elucidating mechanisms of APOBEC3-mediated HIV-1 restriction in iPS-ML- derived macrophages

Hesham Nasser¹⁾、Sharee Leong^{1,2)}、
Shinya Suzu³⁾、Terumasa Ikeda¹⁾

1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター分子ウイルス遺伝学分野

2) 熊本大学大学院医学教育部

3) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染造血分野

WS1-5 Construction of a novel antigen-expression mouse model for analysis of the HIV reservoir

Chatherine Silas Mtali¹⁾、
Rise Kurokawa¹⁾、Innocent Daniel¹⁾、
Yasushi Yabuki²⁾、Takushi Nomura^{1,3)}

1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan

2) Department of Genomic Neurology, Institute of Molecular Embryology and Genetics (IMEG), Kumamoto University, Kumamoto, Japan

3) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan

WS1-6 Characterization of Vaccine-induced SARS-CoV-2-Specific CD4 T Cell Responses in Japanese people with HIV infection

Mark Ndubi¹⁾、Mako Toyoda¹⁾、
Chihiro Motozono¹⁾、Rumi Minami²⁾、
Takamasa Ueno¹⁾

1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan.

2) Clinical Research Institute, National Hospital Organization, Kyushu Medical Center, Fukuoka, Japan.

■日時：11月29日（金） 8:20～10:20

■会場：第4会場（4F 花A）

ワークショップ2（基・B）

次世代研究者によるワークショップ

座長 佐藤賢文

（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

関紗由里

（国立感染症研究所エイズ研究センター）

WS2-1 APOBEC3H 二量体の HIV-1 Vif 依存 的なユビキチン化機構の解明

松岡和弘¹⁾、Katarzyna Skorupka²⁾、
Vanivilasini Balachandran²⁾、
松尾 浩²⁾、岩谷靖雅^{1,3)}

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

2) Cancer Innovation Laboratory, Frederick National Laboratory for Cancer Research, NCI, NIH

3) 名古屋大学大学院医学系研究科基礎医学領域

WS2-2 HIV 残存ウイルスリザーバーが誘導する慢性炎症が血管障害を誘発する可能性

松田幸樹¹⁾、土屋亮人²⁾、西山尚来³⁾、
小泉吉輝²⁾、Park Hyeongk³⁾、
刈谷龍昇⁴⁾、小形幹子²⁾、中村裕子⁵⁾、
上村修司⁵⁾、岡田誠治⁴⁾、岩見真吾³⁾、
上村 悠²⁾、渡辺恒二^{2,6)}、瀧永博之^{2,4)}、
岡 慎一²⁾、前田賢次¹⁾

1) 鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター (ACC)

3) 名古屋大学理学研究科 iLab

4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

5) 鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学

6) 東海大学医学部基礎医学系生体防御学領域

WS2-3 T細胞株における Env タンパク質非依存的 HIV-1 レトロトランスポゾン機構の解析

松村総次郎¹⁾、Rajib Samiul²⁾、
Perpetual Nyame¹⁾、
Wright Amesimeku¹⁾、松田崇秀¹⁾、
寺沢広美¹⁾、門出奈美¹⁾、
Joyce Appiah-Kubi¹⁾、Hossain Md.¹⁾、
佐藤賢文²⁾、澤 智裕¹⁾、前田洋介¹⁾、
門出和精¹⁾

1) 熊本大学生命科学研究部微生物学講座

2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス講座

WS2-4 Nef を介した HLA-B 抗原の発現低下が見られない HIV-1 感染 Fibrocyte に対する HIV-1 特異的 T 細胞の認識

久世 望^{1,2)}、野依 修^{2,3)}、高橋尚史²⁾、
Zhang Yu²⁾、鈴 伸也²⁾、滝口雅文²⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

3) 長崎大学高度感染症研究センター

WS2-5 HIV 感染者の消化管における腸内細菌と真菌カンジダの共生関係の理解

石坂 彩¹⁾、古賀道子¹⁾、水谷壮利²⁾、
四柳 宏^{1,3)}

1) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

2) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻

3) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

WS2-6 CXCR4 多量体形成が関連した HIV-1 感染機序の解明

奥村真由、中村朋文、中田浩智、
安永純一郎

熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科学

WS2-7 分子動力学計算を用いた HIV-1 ゲノム RNA LTR 領域の構造機能予測系の開発

小谷 治、横山 勝、佐藤裕徳

国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

WS2-8 XBB.1.5 系統株感染および XBB.1.5 ブースターワクチン誘導抗体の JN.1 子孫株 (KP.2 株、KP.3 株、KP.2.3 株、LB.1 株) 中和効果

郭 悠、小杉優介、瓜生慧也、
The G2P-Japan Consortium、
伊東潤平、佐藤 佳

東京大学医科学研究所システムウイルス学分野

一般演題 (口演)

■日時：11月28日 (木) 8:30 ~ 9:18

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演1 (臨・C)

エイジング・メンタルヘルス

座長 渡邊珠代

(石川県立中央病院免疫感染症科)

坂本麻衣子

(佐賀大学医学部附属地域医療科学教育研究センター)

○1-1 HIV 感染合併血友病患者の運動機能評価およびリハビリテーションの有用性

遠藤知之^{1,2)}、渡部恵子^{2,3)}、原田裕子⁴⁾、
由利 真⁴⁾、千田尊子²⁾、後藤秀樹^{1,2)}、
松川敏大^{1,2)}、荒 隆英^{1,2)}、長谷川祐太^{1,2)}、
宮島 徹^{1,5)}、長井 惇^{1,5)}、森木朝子^{1,5)}、
藤谷順子⁶⁾、豊嶋崇徳^{1,2)}

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) 北海道大学病院看護部
- 4) 北海道大学病院リハビリテーション部
- 5) エイズ予防財団
- 6) 国立国際医療研究センターリハビリテーション科

○1-2 血友病 A の周術期管理にエファネソクトコグアルファを用いた 4 症例

中嶋恵理子¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、山地由恵²⁾、
犬丸真司²⁾、長與由紀子²⁾、城崎真弓²⁾、
合原嘉寿³⁾、南 留美¹⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部
- 3) 国立病院機構嬉野医療センター薬剤部

○1-3 久山町スコアを用いた People Living with HIV (PLWH) の動脈硬化性心血管疾患リスクの検討

南 留美¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、
小松真梨子¹⁾、山地由恵²⁾、犬丸真司²⁾、
長與由紀子²⁾、城崎真弓²⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部

○1-4 当院における HIV 感染症患者の健康診断受診の現状

長與由紀子¹⁾、城崎真弓¹⁾、犬丸真司¹⁾、
中嶋恵理子²⁾、高濱宗一郎²⁾、南 留美²⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター看護部
- 2) 国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター

○1-5 血漿中 HIV RNA が抑制されている症例の活動性 HABI

上 薫¹⁾、仲村秀太²⁾、前田サオリ³⁾、
宮城京子³⁾、井村弘子²⁾、玉城美波⁴⁾、
平田哲生¹⁾、山本和子²⁾

- 1) 琉球大学病院医療福祉支援センター
- 2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科
- 3) 琉球大学病院看護部
- 4) 琉球大学病院精神神経科

○1-6 HIV 陽性者における自殺に関連する患者背景情報の検討 - 症例対照研究 -

木村聡太¹⁾、大友 健¹⁾、小松賢亮²⁾、
佐藤愛美^{1,4)}、野崎宏枝¹⁾、大杉福子¹⁾、
栗田あさみ¹⁾、谷口 紅¹⁾、鈴木ひとみ¹⁾、
杉野祐子¹⁾、大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、
加藤 温³⁾、照屋勝治¹⁾、湯永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 和光大学
- 3) 国立国際医療研究センター精神科
- 4) エイズ予防財団リサーチレジデント

■日時：11月28日 (木) 9:20 ~ 10:00

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演2 (基・B)

免疫・ワクチン・リザーバー

座長 久世 望

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

本園千尋

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫学分野)

○2-1 HIV ハイリスク非感染者に誘導される異なる機能を持つ HIV 特異的細胞傷害性 T 細胞

近田貴敬¹⁾、Nguyen The Hung¹⁾、
久世 望¹⁾、Zhang Yu¹⁾、
Pham Thi Ngoc Diep²⁾、Do Thi Nga²⁾、
Lung Bich Ngoc²⁾、Nguyen Van Do²⁾、
Le Minh Giang²⁾、岡 慎一³⁾、滝口雅文¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) ハノイ医科大学、ハノイ、ベトナム
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

O2-2 HIV 感染者 T 細胞のシングルセル遺伝子発現解析

立川 (川名) 愛^{1,2,3)}、鹿島幸恵⁴⁾、
細谷 (中山) 香¹⁾、鮎川洋子¹⁾、鈴木 穰⁴⁾、
四柳 宏⁵⁾、山本浩之^{1,2)}、古賀道子⁵⁾

- 1) 国立感染症研究所
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発担当
- 4) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻
- 5) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

O2-3 CD3 ζ鎖ノックダウンは、HIV-1 特異的ナチュラルキラー細胞抗体依存性細胞傷害を阻害する

菅原 将、Esther Lee、
Melissa A Creamer、Alayna Pruitt、
Harikrishnan Balachandran、
Simon B Gressens、Kyle Kroll、
Cordelia Manickam、Stephanie Jost、
Griffin Woolley、R. Keith Reeves

デューク大学医学部外科学科

O2-4 末梢血 CD4 T 細胞内に高いレベルの HIV-1 転写活性が認められる感染者には、血漿中の HIV-1 RNA 量が検出限界以下であっても、2 年以内に一過性の上昇 (Blip) が有意に起こる

鈴木一雄¹⁾、石田尚臣²⁾、
アンジェリカ レヴァト¹⁾、エマ ユー¹⁾、
ジョン ゾンダ¹⁾、ブルース ブリュ¹⁾

- 1) セント ビンセント ホスピタル
- 2) デンカ

O2-5 HIV 感染者の加齢に伴う腸内細菌叢の変化の特徴

P-B2-6

水谷壮利¹⁾、石坂 彩²⁾、古賀道子²⁾、
四柳 宏^{2,3)}

- 1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻
- 2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

■日時：11月28日 (木) 10:20 ~ 11:00

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演3 (社・S)

検査・相談・カウンセリング

座長 勝又裕子

(名古屋市健康福祉局健康部感染症対策課)

長島真美

(東京都健康安全研究センター)

O3-1 女性を対象にした性病検査イベントの立ち上げと検査の実情～検査・治療・予防の分離解消を目指して～

坂元奈桜、石内崇勝、三上 蓮、
吉田菜乃、清水健伍、吉田昂汰

一般社団法人天照会いだてんクリニック

O3-2 ゲイバーおよびハッテン場への HIV 郵送検査キット設置における有効性と問題点

高濱宗一郎¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、山地由恵²⁾、
犬丸真司²⁾、長與由紀子²⁾、城崎真弓²⁾、
南 留美¹⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部

O3-3 HIV 陽性者における診断直後の思いや気持ちの検討 —「HIV 陽性者の抗 HIV 療法に対する意識・経験調査」から

大島 岳^{1,6)}、井上洋士^{2,3,4)}、戸ヶ里泰典⁴⁾、
細川陸也⁵⁾、高久陽介⁶⁾

- 1) 明治大学情報コミュニケーション学部
- 2) 株式会社アクセライト
- 3) 埼玉大学
- 4) 放送大学
- 5) 京都大学大学院医学研究科
- 6) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

O3-4 HIV 陽性者では陽性診断直後から現在までポジティブ情動とネガティブ情動はどう変わっているのか—日本語版 PANAS スコアを用いた陽性診断時期別の分析検討—

井上洋士^{1,2,3)}、戸ヶ里泰典³⁾、細川陸也⁴⁾、
大島 岳⁵⁾、高久陽介⁶⁾

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 埼玉大学
- 3) 放送大学
- 4) 京都大学大学院医学研究科
- 5) 明治大学
- 6) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

○3-5 新型コロナウイルスの世界的流行前後の東京都エイズ専門相談員派遣依頼の経年変化：年齢と療養期間を中心に

宮島謙介、望月昌恵、神谷昌枝、
吉田容子、荒井アオイ、長嶋薫未、
中林了子、宮石奉枝

東京都保健医療局感染症対策部防疫課

○4-4 HIV 感染者における HPV 関連癌のバイオマーカーとしての HPV16 E6 の有用性

安藤尚克、水島大輔、星野晴子、
高野 操、青木孝弘、中本貴人、
川島 亮、阿部静太郎、湯永博之

国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

■日時：11月28日 (木) 11:10 ~ 11:58

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演4 (臨・C)

日和見感染・悪性腫瘍・肝炎

座長 和田秀穂

(川崎医科大学血液内科学)

松川敏大

(北海道大学病院 HIV 診療支援センター)

○4-5 コントロール不良の HIV 感染者における重症エムポックス治療の後方視的検討

守山祐樹¹⁾、丸木孟知¹⁾、久保起人¹⁾、
櫻井彩奈¹⁾、窪野裕太¹⁾、中本貴人²⁾、
森岡慎一郎¹⁾、秋山裕太郎¹⁾、大曲貴夫¹⁾

1) 国立国際医療研究センター国際感染症センター

2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

○4-6 エムポックス治療薬テコビリマット耐性エムポックスウイルス株に対する抗ウイルス剤の活性

鋤田伸好¹⁾、服部真一朗¹⁾、高松悠樹¹⁾、
岩元典子²⁾、丸木孟知²⁾、久保起人²⁾、
櫻井彩奈²⁾、窪野裕太²⁾、満屋裕明^{1,3,4)}

1) 国立国際医療研究センター研究所難治性ウイルス感染症研究部

2) 国立国際医療研究センター病院国際感染症センター

3) 熊本大学附属病院

4) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH, DHHS

○4-1 HIV 感染の経過中に消化器症状を呈し、CS 時の生検で全結腸の炎症所見を認めたことより初期の IBD が疑われた AIDS の 1 例

立石 翔¹⁾、齋藤 聡¹⁾、酒匂美奈子¹⁾、
吉野友祐²⁾、児玉 真³⁾、阿部佳子³⁾、
柳 富子⁴⁾

1) JCHO 東京山手メディカルセンター消化器内科

2) 帝京大学医学部微生物学講座

3) JCHO 東京山手メディカルセンター病理診断科

4) JCHO 東京山手メディカルセンター血液内科

○4-2 HIV 関連カポジ肉腫症例における HHV-8 のウイルス量と予後に関する記述的研究

石川和宏¹⁾、村松 崇²⁾、金子 竣²⁾、
原田侑子²⁾、宮下竜伊²⁾、上久保淑子²⁾、
山口知子²⁾、一木昭人²⁾、近澤悠志²⁾、
備後真登²⁾、関谷綾子²⁾、四本美保子²⁾、
萩原 剛²⁾、天野景裕²⁾、木内 英²⁾

1) 東京医科大学茨城医療センター

2) 東京医科大学

○4-3 HIV 陽性者におけるびまん性大細胞性 B 細胞リンパ腫 (diffuse large B-cell lymphoma, DLBCL) の臨床的特徴

相澤陽太、関谷綾子、西川ゆかり、
鄭 瑞雄、田中 勝、福島一彰、
小林泰一郎、今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

一般演題 (口演)

■日時：11月28日 (木) 13:30 ~ 14:10

■会場：第4会場 (4F 花A)

口演5 (臨・C)

看護・長期療養・チーム医療①

座長 宮城京子

(琉球大学病院)

鈴木ひとみ

(国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院)

O5-1 服薬アドヒアランス不良患者に対する支援の在り方について

前田サオリ¹⁾、宮城京子¹⁾、仲村秀太²⁾、大田久美子³⁾、上原 仁³⁾、石郷岡美穂⁴⁾、上 薫⁴⁾、玉城美波⁵⁾、饒平名聖⁶⁾、山川奈津子⁶⁾、新里尚美⁷⁾、金城隆展⁸⁾

- 1) 琉球大学病院
- 2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
- 3) 琉球大学病院薬剤部
- 4) 琉球大学病院医療福祉センター
- 5) 琉球大学病院精神科神経科
- 6) 琉球大学病院検査・輸血部
- 7) 沖縄県感染症診療保健医療部ワクチン接種等戦略課
- 8) 琉球大学病院地域・国際医療部

O5-2 脂質異常症を合併した患者に HIV ケア チームで継続支援を行った一症例

早川幸子¹⁾、川田道子²⁾、加嶋真恵²⁾、吉田陽子²⁾、大田佐代子²⁾、小田優子³⁾、住吉健太⁴⁾、内田俊平⁵⁾、今滝 修⁵⁾、北岡陸男¹⁾

- 1) 香川大学医学部附属病院臨床栄養部
- 2) 看護部
- 3) 医療支援課
- 4) 薬剤部
- 5) 血液内科

O5-3 ACC 通院中の HIV 感染症高齢患者の実態調査

鈴木ひとみ¹⁾、谷口 紅¹⁾、杉野祐子¹⁾、栗田あさみ¹⁾、高橋昌也¹⁾、大杉福子¹⁾、佐藤愛美²⁾、池田和子¹⁾、大金美和¹⁾、木村聡太¹⁾、大友 健¹⁾、宮本里香²⁾、照屋勝治¹⁾、瀧永博之¹⁾

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

O5-4 地域における訪問看護の実践

中村さおり¹⁾、瓦えり子¹⁾、前田サオリ²⁾、宮城京子²⁾、仲村秀太³⁾

- 1) 訪問看護ステーションピース
- 2) 琉球大学病院看護部
- 3) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座

O5-5 独居で視力障害のある PLWH が永久人工肛門増設に至るまでの外来での関わり

上山美香¹⁾、小林路世¹⁾、古賀道子²⁾、織田ひとみ¹⁾、中澤光子¹⁾、渡辺直子³⁾、菊地 正²⁾、四柳 宏²⁾、砂田純子¹⁾

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院看護部
- 2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院地域医療連携室

■日時：11月28日 (木) 13:30 ~ 14:10

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演6 (社・S)

政策・医療体制・ソーシャルワーク

座長 北島 勉

(杏林大学総合政策学部)

重信英子

(広島大学病院)

O6-1 近畿圏内のエイズ診療拠点病院の感染症内科医に対する精神科連携に関する実態調査

平川夏帆¹⁾、金井講治²⁾、長瀬亜岐³⁾、鈴木麻希¹⁾、池田 学⁴⁾

- 1) 大阪大学大学院連合小児発達学研究所行動神経学・神経精神医学
- 2) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター
- 3) おひさまクリニック西宮
- 4) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

O6-2 留学生の ART 継続に向けた国内福祉制度の活用事例

知久熙真^{1,2)}、新保明日香³⁾、猪俣萌子¹⁾、川口 怜³⁾、柴田 伶¹⁾、茂呂 寛¹⁾

- 1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 新潟大学医歯学総合病院看護部

O6-3 日本の HIV 陽性者における免疫機能障害での身体障害者手帳の未取得と ART 開始遅れの状況についての調査研究

井上洋士^{1,2,3)}、戸ヶ里泰典³⁾、細川陸也⁴⁾、大島 岳⁵⁾、高久陽介⁶⁾

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 埼玉大学
- 3) 放送大学
- 4) 京都大学大学院医学研究科
- 5) 明治大学
- 6) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンプハウス

06-4 HIV 陽性者の長期療養支援について —転院支援の一事例から地域包括ケア システムを考える—

大塚晃子¹⁾、岡本 学^{1,2)}

- 1) 国立病院機構大阪医療センター医療福祉相談室
- 2) 国立病院機構大阪医療センター HIV 地域医療支援室

06-5 介護サービス事業所における PWH の 受け入れに関する調査—沖縄県介護 ネットワーク構築へ向けて—

新里尚美¹⁾、前田サオリ³⁾、宮城京子³⁾、
大田久美子⁴⁾、上原 仁⁴⁾、山川奈津子⁵⁾、
石郷岡美穂⁶⁾、金城隆展⁷⁾、仲村秀太²⁾、
山本和子²⁾

- 1) 琉球大学病院第一内科
- 2) 琉球大学大学院医科学研究科感染症・呼吸器・消化器
内科学講座
- 3) 琉球大学病院看護部
- 4) 琉球大学病院薬剤部
- 5) 琉球大学病院検査・輸血部
- 6) 琉球大学病院医療福祉センター
- 7) 琉球大学病院地域・国際医療部

■日時：11月28日 (木) 14:20 ~ 15:00

■会場：第4会場 (4F 花A)

口演7 (臨・C)

看護・長期療養・チーム医療②

座長 戸蒔祐子

(慶應義塾大学病院看護部)

新保明日香

(新潟大学医歯学総合病院看護部感染管理部)

07-1 HIV 陽性者の長期療養を見据えた医療 と生活圏をつなぐ HIV 感染症看護師の 役割の検討—令和 5 年度 HIV 感染症看 護師相互交流によるセミナー in 首都圏 のアンケート調査より—その 1

杉野祐子¹⁾、松本雅美²⁾、堤 徳正³⁾、
小林あずさ⁴⁾、関矢早苗⁴⁾、古谷佳苗⁶⁾、
山口睦美⁷⁾、岡村美里⁵⁾、鶴藤有紀子⁸⁾、
戸蒔祐子⁹⁾、大金美和¹⁾、瀧永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター
- 2) 横浜市立市民病院
- 3) 筑波大学附属病院
- 4) 地方独立行政法人東京都立病院機構がん・感染症セン
ター都立駒込病院
- 5) 東京慈恵会医科大学附属病院
- 6) 千葉大学医学部附属病院
- 7) 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院
- 8) 横浜市立大学附属病院
- 9) 慶應義塾大学病院

07-2 HIV 陽性者の長期療養を見据えた医療 と生活圏をつなぐ HIV 感染症看護の発 展のために—令和 5 年度 HIV 感染症看 護師相互交流によるセミナー in 首都圏 のアンケート調査より—その 2

松本雅美¹⁾、杉野祐子²⁾、堤 徳正³⁾、
小林あずさ⁴⁾、関矢早苗⁴⁾、古谷佳苗⁶⁾、
山口睦美⁷⁾、岡村美里⁵⁾、鶴藤有紀子⁸⁾、
戸蒔祐子⁹⁾、大金美和²⁾、瀧永博之²⁾

- 1) 横浜市立市民病院
- 2) 国立国際医療研究センター
- 3) 筑波大学附属病院
- 4) 地方独立行政法人東京都立病院機構がん・感染症セン
ター都立駒込病院
- 5) 東京慈恵会医科大学附属病院
- 6) 千葉大学医学部附属病院
- 7) 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院
- 8) 横浜市立大学附属病院
- 9) 慶應義塾大学病院

07-3 メンタルヘルスに課題のある HIV 陽性 者に対する看護職と心理職の協働支援 とは—全国の HIV 陽性者に携わる看護 職と心理職の相互交流セミナーのアン ケート調査より—

杉本悠貴恵^{1,2)}、坂本涼子^{1,3)}、木村聡太⁴⁾、
杉野祐子⁴⁾、大金美和⁴⁾、東 政美⁵⁾、
藤井輝久^{1,2)}、藤谷順子⁶⁾、瀧永博之⁴⁾

- 1) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院看護部
- 4) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発セン
ター
- 5) 国立病院機構大阪医療センター看護部
- 6) 国立国際医療研究センターリハビリテーション科

07-4 非拠点病院における HIV 感染症診療の 実状

川村繭子¹⁾、川村隆之¹⁾、塚田訓久¹⁾、
小野大輔¹⁾、山口 涼¹⁾、三村一行²⁾、
岡 秀昭²⁾、河合夏美²⁾

- 1) 埼玉医科大学総合医療センター感染症科・感染制御科
- 2) 埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科・感染症
科

07-5 エイズ発症者の施設入所調整における 課題と支援

高橋昌也、池田和子、杉野祐子、
谷口 紅、鈴木ひとみ、栗田あさみ、
大杉福子、大金美和、照屋勝治、
瀧永博之

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発セン
ター

■日時：11月28日 (木) 14:20 ~ 15:08

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演8 (臨・C)

U=Uと拳児希望・母子感染・歯科

座長 吉川 寛

(千葉大学医学部附属病院感染制御部)

関谷綾子

(がん感染症センター都立駒込病院感染症科/東京医科大学臨床検査医学分野)

08-1 ヒト免疫不全ウイルス陽性女性と出生した児の長期予後に関する多施設コホート研究 (JWCICSII) からみた出生児の予後 第二報

田中瑞恵^{1,2)}、外川正生²⁾、兼重昌夫^{1,2)}、前田尚子²⁾、岡田陽子²⁾、中河秀憲²⁾、佐々木泰治²⁾、時川麻紀^{1,2)}、北島浩二²⁾、喜多恒和²⁾、吉野直人²⁾

1) 国立国際医療研究センター小児科
2) 厚生労働省科学補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班 (母子感染研究班)

08-2 北陸ブロック拠点病院歯科における歯科医療体制整備活動を振り返る

宮田 勝¹⁾、高木純一郎¹⁾、釜本宗史¹⁾、向 真紀²⁾、榎野莉沙²⁾、越田美和²⁾、塚本暁子²⁾、塩谷元子²⁾、辻 典子³⁾、石井智美⁴⁾、小谷岳春⁵⁾、渡邊珠代⁶⁾

1) 石川県立中央病院歯科口腔外科
2) 石川県立中央病院歯科技術室
3) 石川県立中央病院 HIV 事務室
4) 石川県立中央病院看護部
5) 石川県立中央病院血液内科
6) 石川県立中央病院免疫感染症科

08-3 当院における女性 HIV 感染者の検討

松下清香、古賀道子、菅野芳明、安達英輔、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院

08-4 HIV 感染妊娠に関する情報の普及啓発方法の開発 ～ SNS を用いた性感染症に関する情報発信の試み～

高野政志^{1,2)}、喜多恒介^{2,3)}、川島史奈³⁾、鈴木ひとみ²⁾、羽柴知恵子²⁾、三上由美子²⁾、出口雅士²⁾、杉浦 敦²⁾、田中瑞恵²⁾、高橋尚子²⁾、喜多恒和²⁾、吉野直人²⁾

1) 防衛医科大学校
2) 厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班
3) 株式会社キタイエ

08-5 JICA 草の根支援事業としての神奈川県歯科医師会のホーチミン市における歯科診療体制構築事業について (第四報)

鈴木信治¹⁾、池田正一²⁾、池野 良¹⁾、柿沼章子³⁾、中川裕美子⁴⁾、中澤よう子^{5,6)}、吉村幸浩⁷⁾

1) 神奈川県歯科医師会
2) 神奈川県大学
3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
4) 大手前短期大学歯科衛生学科
5) 神奈川県予防医学協会
6) ぶれいす東京
7) 横浜市立市民病院

08-6 HIV 感染者およびそのハイリスク者における SARS-CoV-2 感染の血清学的研究

土屋亮人¹⁾、水島大輔^{1,2)}、高野 操¹⁾、岡 慎一^{1,2)}、潟永博之^{1,2)}

1) 国立国際医療研究センター病院
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

一般演題 (口演)

■日時：11月28日 (木) 15:30～16:18

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演9 (臨・C)

抗HIV療法①

座長 今村淳治

(NHO 仙台医療センター)

築地茉莉子

(千葉大学医学部附属病院薬剤部)

09-1 インテクラゼ阻害薬と漢方薬の物理化学的相互作用の検討

田中博之¹⁾、山内萌子¹⁾、伊藤雅隆²⁾、野口修治²⁾、石井敏浩¹⁾

- 1) 東邦大学薬学部実践医療薬学研究室
- 2) 東邦大学薬学部薬剤学教室

09-2 簡易懸濁法でドラビリンとドルテグラビルを投与後に血漿中薬物濃度を測定した一例

田澤佑基^{1,2)}、松川敏大^{2,3)}、新井崇之^{1,2)}、遠藤知之^{2,3)}、武隈 洋¹⁾、菅原 満^{1,4)}

- 1) 北海道大学病院薬剤部
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) 北海道大学病院血液内科
- 4) 北海道大学大学院薬学研究院

09-3 CYP3A5 および UGT1A1 の遺伝子多型がビクテグラビルの薬物動態および血清クレアチニンに及ぼす影響

久利 歩¹⁾、矢倉裕輝²⁾、藤原綾乃²⁾、駒野 淳¹⁾、渡邊 大²⁾

- 1) 大阪医科薬科大学薬学部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部

09-4 多剤薬剤耐性を獲得した HIV 感染症患者にカプシド阻害薬レナカパビルを導入した当院 HIV チームとしての服薬支援

佐藤 萌¹⁾、山口英美¹⁾、村多杏美¹⁾、伊東隆宏¹⁾、西村康人¹⁾、佐々木晃子²⁾、鈴木佳奈子²⁾、佐藤華絵³⁾、坂本拓矢⁵⁾、今村淳治⁴⁾、伊藤俊広⁴⁾

- 1) 国立病院機構仙台医療センター薬剤部
- 2) 国立病院機構仙台医療センター看護部
- 3) 国立病院機構仙台医療センター地域医療連携室
- 4) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科
- 5) 八戸市立市民病院総合診療科

09-5 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査 (2024 年)

澤田暁宏¹⁾、関根祐介²⁾、増田純一³⁾、小島賢一⁴⁾

- 1) 兵庫医科大学呼吸器・血液内科
- 2) 東京医科大学薬剤部
- 3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 4) 荻窪病院血液凝固科

09-6 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査 (2024 年)

関根祐介¹⁾、澤田暁宏²⁾、増田純一³⁾、小島賢一⁴⁾

- 1) 東京医科大学病院薬剤部
- 2) 兵庫医科大学呼吸器・血液内科
- 3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 4) 荻窪病院血液凝固科

■日時：11月28日 (木) 16:20～17:00

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演10 (臨・C)

抗HIV療法②

座長 渡邊 大

(国立病院機構大阪医療センター・臨床研究センター)

松木克仁

(名古屋医療センター薬剤部)

010-1 北陸ブロックで処方されている ART についての検討

渡邊珠代¹⁾、辻 典子²⁾、山田栞里²⁾、朝倉英策³⁾、森永浩次⁴⁾、吉尾伸之⁵⁾、井上 仁⁶⁾、今村 信⁷⁾、清水和朗⁸⁾、高松秀行⁹⁾、村井佑至¹⁰⁾、彼谷裕康¹¹⁾、岩崎博道¹²⁾

- 1) 石川県立中央病院免疫感染症科
- 2) 石川県立中央病院 HIV 事務室
- 3) 金沢大学附属病院
- 4) 福井県立病院
- 5) 国立病院機構金沢医療センター
- 6) 国立病院機構敦賀医療センター
- 7) 福井赤十字病院
- 8) 市立敦賀病院
- 9) 黒部市民病院
- 10) 富山大学附属病院
- 11) 富山県立中央病院
- 12) 福井大学医学部附属病院

○10-2 ウイルス学的抑制が得られている患者を対象としたドラビリンへ切り替えた後の長期有効性および安全性の調査

山口泰弘、平田亮介、高武嘉道、菊地憂衣、大石博史、大橋邦央、橋本雅司

独立行政法人国立病院機構九州医療センター薬剤部

○10-3 HIV 診療ブロック拠点病院における HIV 感染症薬剤耐性調査

増田純一¹⁾、矢倉裕輝²⁾、松木克仁³⁾、井上正朝⁴⁾、田澤佑基⁵⁾、佐藤 萌⁶⁾、三枝祐美⁷⁾、石井 良⁸⁾、成田綾香⁹⁾、石井聡一郎¹⁰⁾、西 勇治¹¹⁾、山口泰弘¹²⁾、菊地 正¹³⁾、瀧永博之¹⁴⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤部
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤部
- 4) 旭川医科大学病院薬剤部
- 5) 北海道大学病院薬剤部
- 6) 国立病院機構仙台医療センター薬剤部
- 7) 新潟大学医歯学総合病院薬剤部
- 8) 新潟県立新発田病院薬剤科
- 9) 石川県立中央病院薬剤部
- 10) 広島大学病院薬剤部
- 11) 県立広島病院薬剤科
- 12) 国立病院機構九州医療センター薬剤部
- 13) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 14) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

○10-4 抗 HBV 活性を含まない抗 HIV 療法時代に必要な HBV 感染既往者のマネージメント

安達英輔¹⁾、松下清香¹⁾、菅野芳明²⁾、古賀道子²⁾、後原綾子²⁾、有藺晃太郎²⁾、高橋和明²⁾、四柳 宏^{1,2)}

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

○10-5 HIV-1 RNA Blips および低レベルのウイルス複製：SOLAR 試験 (CAB+RPV LA vs BIC/FTC/TAF)

安達英輔¹⁾、Christine Latham²⁾、Rimgaile Urbaityte³⁾、Kenneth Sutton²⁾、William R. Spreen²⁾、Ronald D'Amico²⁾

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院
- 2) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA
- 3) GSK, Brentford, UK

■日時：11月28日 (木) 17:40 ~ 18:20

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演11 (臨・C)

PEP・PrEP・STI・STD①

座長 谷口俊文

(千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科)

石内崇勝

(一般社団法人天照会いだてんクリニック)

○11-1 Sexual Health 外来における PrEP の有無による性感染症の罹患率の動向

水島大輔^{1,2)}、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、首藤真由美¹⁾、安藤尚克¹⁾、青木孝弘¹⁾、瀧永博之^{1,2)}、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

○11-2 Sexual Health 外来における HIV 感染者の経年的推移と PrEP の意向

水島大輔^{1,2)}、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、首藤真由美¹⁾、安藤尚克¹⁾、青木孝弘¹⁾、瀧永博之^{1,2)}、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

○11-3 性感染症罹患歴があるにもかかわらず PrEP を希望しない理由について

高野 操、水島大輔、田中和子、首藤真由美、青木孝弘、安藤尚克、照屋勝治、瀧永博之、岡 慎一

国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

○11-4 HIV 感染者における STI 罹患の状況

出口佳美、水島大輔、高野 操、青木孝弘、安藤尚克、阿部静太郎、中本貴人、照屋勝治、瀧永博之

国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

○11-5 東京都におけるエムポックスウイルス検査とゲノム解析

長島真美¹⁾、岡田若葉¹⁾、高橋久美子¹⁾、糟谷 文¹⁾、熊谷遼太¹⁾、原田幸子¹⁾、矢尾板優¹⁾、貞升健志¹⁾、吉村和久²⁾

- 1) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 2) 東京都健康安全研究センター

一般演題 (口演)

■日時：11月28日 (木) 18:30 ~ 19:18

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演12 (臨・C) PEP・PrEP・STI・STD②

座長 安藤尚克

(国立国際医療研究センター)

仲村秀太

(琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科講座)

○12-1 HIV 感染症に合併した梅毒に対するベンジルペニシリンベンザチン水和物の使用経験

福島一彰、鄭 瑞雄、相澤陽太、
西川ゆかり、田中 勝、小林泰一郎、
関谷綾子、矢嶋敬史郎、味澤 篤、
今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院

○12-2 SH 外来通院者における DOXY PEP の利用状況

田中和子、水島大輔、高野 操、
首藤真由美、青木孝弘、安藤尚克、
照屋勝治、瀧永博之、岡 慎一

国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・
研究開発センター

○12-3 PrEP 使用者の性病感染推移と今後の課題

吉田菜乃、石内崇勝、三上 蓮、
坂元奈桜、清水健伍、吉田昂汰

一般社団法人天照会いだてんクリニック

○12-4 Doxy PEP 利用者における STI の実態と今後の課題

吉田昂汰、三上 蓮、吉田菜乃、
坂元奈桜、清水健伍、石内崇勝

一般社団法人天照会いだてんクリニック

○12-5 DoxyPrEP による女性性産業従事者の 性感染症予防と膣細菌叢への影響

阿部静太郎¹⁾、川島 亮¹⁾、上村 悠¹⁾、
安藤尚克¹⁾、水島大輔¹⁾、瀧永博之¹⁾、
岡 慎一¹⁾、塩尻大輔²⁾

1) 国立国際医療研究センター病院

2) パーソナルヘルスクリニック

○12-6 PWH の性感染症パラメーター陽性率の横断的検討

古賀道子¹⁾、久保田めぐみ¹⁾、千光寺智恵¹⁾、
菅野芳明¹⁾、安達英輔²⁾、菊地 正²⁾、
大谷天人²⁾、四柳 宏^{1,2)}

1) 東京大学医科学研究所感染症分野

2) 東京大学医科学研究所感染免疫内科

■日時：11月29日 (金) 8:30 ~ 9:10

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演13 (社・S) 薬害①

座長 小松賢亮

(和光大学 / 慶應義塾大学病院)

三重野牧子

(自治医科大学情報センター)

○13-1 薬害 HIV 感染血友病患者の今 - 非薬害 血友病患者との意識調査の比較 第 2 報 -

小島賢一¹⁾、長江千愛²⁾、足利朋子²⁾、
稲垣有佐³⁾、柿沼章子⁴⁾、後藤美和⁵⁾、
近澤悠志⁶⁾、瀧 正志²⁾、竹谷英之⁷⁾、
中尾 綾⁸⁾、西田恭治⁹⁾、野島正寛¹⁰⁾、
牧野健一郎¹¹⁾、和田育子¹⁾

1) 医療法人財団荻窪病院

2) 聖マリアンナ医科大学小児科

3) 奈良県立医科大学リハビリテーション医学講座

4) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

5) 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部

6) 東京医科大学臨床検査医学分野

7) NHO 敦賀医療センターリハビリテーション科

8) 愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学

9) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター血友病科 / 感染症内科

10) 東京大学医科学研究所 TR 治験センター

11) 新王子病院リハビリテーション科

○13-2 薬害 HIV 感染被害者らはこの先の生活 見通しをどう捉えどのような悩みや不 安を感じて日々過ごしているのか

柿沼章子¹⁾、井上洋士^{2,3,4)}、岩野友里¹⁾、
武田飛呂城¹⁾

1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

2) 株式会社アクセライト

3) 埼玉大学

4) 放送大学

○13-3 薬害 HIV 感染者の生きがいに関する研究

木村聡太¹⁾、大友 健¹⁾、小松賢亮²⁾、
福嶋千穂³⁾、高橋昌也¹⁾、宮本里香^{1,4)}、
小形幹子¹⁾、佐藤愛美^{1,4)}、野崎宏枝¹⁾、
大杉福子¹⁾、鈴木ひとみ¹⁾、大金美和¹⁾、
中本貴人¹⁾、上村 悠¹⁾、加藤 温⁵⁾、
藤谷順子⁶⁾、照屋勝治¹⁾、瀧永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 和光大学
- 3) 国立国際医療研究センター薬剤部
- 4) エイズ予防財団リサーチレジデント
- 5) 国立国際医療研究センター精神科
- 6) 国立国際医療研究センターリハビリテーション科

○13-4 薬害 HIV 感染被害者らには医療機関への通院による負担はどれくらいかかっているのか

岩野友里¹⁾、井上洋士^{2,3,4)}、柿沼章子¹⁾、
武田飛呂城¹⁾

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 株式会社アクセライト
- 3) 埼玉大学
- 4) 放送大学

○13-5 HIV 感染血友病等患者の定期通院時の移動手段の実態調査と今後の課題についての検討

佐藤愛美^{1,2)}、大金美和²⁾、上村 悠²⁾、
鈴木ひとみ²⁾、大杉福子²⁾、谷口 紅²⁾、
杉野祐子²⁾、木村聡太²⁾、池田和子²⁾、
中本貴人²⁾、照屋勝治²⁾、瀧永博之²⁾

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

■日時：11月29日 (金) 9:20～9:52

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演 14 (社・S)

薬害②

座長 本郷正武

(桃山学院大学社会学部)

大里文誉

(国立病院機構九州医療センター)

○14-1 日常的な気遣い(ケア)から生まれる新しい関係性—親密圏から得られた人生の転換点

山田富秋¹⁾、早坂典生²⁾、種田博之³⁾、
入江恵子⁴⁾、小川良子⁵⁾、宮本哲雄⁶⁾

- 1) 特定非営利活動法人社会理論・動態研究所
- 2) 特定非営利活動法人りょうちゃんず
- 3) 産業医科大学
- 4) 北九州市立大学
- 5) 本永病院
- 6) 国立病院機構大阪医療センター

○14-2 HIV 感染血友病患者の歯科紹介における医療連携の検討

宮本里香^{1,2)}、上村 悠²⁾、大金美和²⁾、
池田和子²⁾、野崎宏枝²⁾、佐藤愛美¹⁾、
鈴木ひとみ²⁾、杉野祐子²⁾、谷口 紅²⁾、
栗田あさみ²⁾、大杉福子²⁾、高橋昌也²⁾、
木村聡太²⁾、中本貴人²⁾、近藤順子³⁾、
高鍋雄亮³⁾、丸岡 豊³⁾、照屋勝治²⁾、
瀧永博之²⁾

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 3) 国立国際医療研究センター病院歯科・口腔外科

○14-3 薬害 HIV 感染被害者の安心安全な長期療養のためのソーシャルサポートネットワークの整備～実践例および今後の課題

柿沼章子、岩野友里、久地井寿哉、
武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

○14-4 薬害 HIV 感染被害者のサポートネットワークと孤独感についての調査研究

井上洋士^{1,2,3)}、柿沼章子⁴⁾、岩野友里⁴⁾、
武田飛呂城⁴⁾

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 埼玉大学
- 3) 放送大学
- 4) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

一般演題 (口演)

■日時：11月29日 (金) 14:30～15:10

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演15 (臨・C)

薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス

座長 増田純一

(国立国際医療研究センター病院)

田橋美佳

(薬樹薬局三ツ沢)

■日時：11月29日 (金) 15:20～16:00

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演16 (臨・C)

PEP・PrEP・STI・STD③

座長 水島大輔

(国立国際医療研究センター)

吉田昂汰

(一般社団法人天照会いだてんクリニック)

○15-1 持続性注射薬カボテグラビル+リルピ ビルン (CAB+RPV) 使用患者の臨床 的特徴

新井崇之^{1,3)}、田澤佑基^{1,3)}、遠藤知之^{2,3)}、
武隈 洋¹⁾、菅原 満^{1,4)}

- 1) 北海道大学病院薬剤部
- 2) 北海道大学病院血液内科
- 3) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 4) 北海道大学大学院薬学研究院

○15-2 血友病専用トレーシングレポート運用 開始後の現状調査

菊地憂衣、山口泰弘、高武嘉道、平田亮介、
大石博史、藤瀬陽子、大橋邦央、橋本雅司

国立病院機構九州医療センター

○15-3 HIV 感染患者が保険薬局・保険薬剤師 に期待すること

山本順也

ココカラファイン薬局谷町四丁目駅店

○15-4 HIV 感染症患者におけるお薬手帳利用 状況の解析

平田亮介¹⁾、山口泰弘¹⁾、高武嘉道¹⁾、
合原嘉寿²⁾、松永真実³⁾、大橋邦央¹⁾、
橋本雅司¹⁾

- 1) NHO 九州医療センター
- 2) NHO 嬉野医療センター
- 3) NHO 小倉医療センター

○15-5 福岡市薬剤師会会員薬局における HIV 感染症患者の対応状況についてのアン ケート調査

草場健司¹⁾、早田佳生¹⁾、鬼塚麻美¹⁾、
宮之原啓子¹⁾、高武嘉道⁴⁾、合原嘉寿⁵⁾、
井手純司³⁾、鷲山厚司²⁾

- 1) 福岡市薬剤師会薬局百道店
- 2) 福岡市薬剤師会薬局
- 3) 一般社団法人福岡市薬剤師会
- 4) NHO 九州医療センター
- 5) 嬉野医療センター

○16-1 日本のトランスジェンダーに見られる ヘルスケアへの障壁

池袋 真^{1,2)}、塩尻大輔^{1,3)}、瀧永博之^{2,3)}

- 1) パーソナルヘルスクリニック
- 2) 熊本大学大学院医学教育部ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

○16-2 “On PrEP” の多義性とスティグマ： PrEP 使用者のインタビュー調査から

首藤真由美¹⁾、稲葉千恵美¹⁾、金 智慧²⁾、
辻内琢也²⁾

- 1) 早稲田大学大学院人間科学研究科
- 2) 早稲田大学人間科学学術院

○16-3 PrEP 薬処方クリニックと見守りサービ ス提供クリニックを取材して ー PrEP 薬服用当事者の考察ー

翁長祐太

カラフル@はーと

○16-4 PrEP に関する 4 回の大規模調査から考 える国内で求められる地域の医療環境 についての考察

生島 嗣¹⁾、三輪岳史¹⁾、山口正純²⁾、
大槻知子¹⁾、樽井正義¹⁾

- 1) NPO 法人ぶれいす東京
- 2) 長寿リハビリセンター病院

○16-5 オンライン PrEP 専門クリニックを受 診する全国の患者の性行動と健康課題 の実態

遠藤洵之介

ベアクリニック

■日時：11月29日 (金) 16:10 ~ 16:42

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演 17 (基・B)

レトロウイルス・MPOX

座長 白川康太郎

(京都大学血液内科)

門出和精

(熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座)

O17-1 宿主因子 M-Sec は HTLV-1 ウイルス粒子への Env の取り込みを促進する

日吉真照¹⁾、Youssef Eltalkhawy²⁾、Randa Abdelnaser²⁾、高橋尚史²⁾、鈴 伸也²⁾

1) 国立感染症研究所次世代生物学的製剤研究センター

2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

O17-2 Intragenic silencer regulates human retrovirus latency by recruiting RUNX1

Akhinur Rahman¹⁾、Kenji Sugata¹⁾、Koki Niimura¹⁾、Kazuaki Monde²⁾、Wajihah Sakhor¹⁾、Sharmin Nahar Sithi¹⁾、Kiyoto Tsuchiya⁴⁾、Masahito Tokunaga⁵⁾、Atae Utsunomiya⁵⁾、Yoshihisa Yamano³⁾、Masahiro Ono⁶⁾、Yorifumi Satou¹⁾

1) Division of Genomics and Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan

2) Department of Microbiology, Kansai Medical University, Hirakata, Japan

3) Department of Rare Diseases Research, Institute of Medical Science, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki, Japan

4) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan

5) Department of Hematology, Imamura General Hospital, Kagoshima, Japan

6) Department of Life Sciences, Imperial College London, London, UK

O17-3 Aspect of SRY-related HMG-box (SOXs) protein in the activation of human endogenous retroviruses (HERVs)

Md. Jakir Hossain, Nami Monde, Hiromi Terasawa, Nyame Perpetual, Joyce Appiah-Kubi, Wright Andrews Amesimeku, Tomohiro Sawa, Yosuke Maeda, Kazuaki Monde

Department Of Microbiology, Kumamoto University, Japan

O17-4 P-B4-8 I7L プロテアーゼ触媒残基に着目した抗モンキーポックスウイルス療法薬の開発展望

高松悠樹¹⁾、鎌田伸好¹⁾、服部真一朗¹⁾、篠原功紀²⁾、小早川拓也²⁾、辻 耕平²⁾、玉村啓和²⁾、満屋裕明^{1,3,4)}

1) 国立国際医療研究センター研究所

2) 東京医科歯科大学

3) National Institute of Health

4) 熊本大学

■日時：11月29日 (金) 16:50 ~ 17:38

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演 18 (基・B)

COVID-19

座長 立川(川名)愛

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

野村拓志

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターウイルス病態学分野)

O18-1 SARS-CoV-2 長期持続感染 HIV 患者における次世代シーケンシング解析

川島 亮^{1,2)}、土屋亮人¹⁾、黒木絢士郎³⁾、長島真美³⁾、中本貴人^{1,2)}、小泉吉輝¹⁾、桑田 亮¹⁾、阿部静太郎¹⁾、井上恵理¹⁾、安藤尚克¹⁾、上村 悠¹⁾、青木孝弘¹⁾、水島大輔^{1,2)}、貞升健志³⁾、照屋勝治¹⁾、吉村和久³⁾、瀧永博之^{1,2)}

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

3) 東京都健康安全研究センター微生物部ウイルス研究科

○18-2 P-B3-3 Intelli-OVI: A new-generation clinical tool for monitoring SARS-CoV-2 variants

Md Belal Hossain¹⁾、
Yoshikazu Uchiyama²⁾、
Samiul Alam Rajib¹⁾、
Mami Nagashima³⁾、
Mamiyo Kawakami³⁾、Hitoshi Ito³⁾、
Kenji Sadamasu³⁾、Yasuhiro Ogi⁴⁾、
Tatsuya Kawaguchi^{4,5)}、
Tomokazu Tamura⁶⁾、
Takasuke Fukuhara⁶⁾、
Masahiro Ono⁷⁾、
Kazuhisa Yoshimura³⁾、Yorifumi Satou¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス学分野
- 2) Department of Information and Communication Technology, Faculty of Engineering, University of Miyazaki
- 3) Department of Microbiology, Tokyo Metropolitan Institute of Public Health
- 4) Clinical Laboratory, Center of Kumamoto City Medical Association
- 5) Department of Medical Technology, Kumamoto Health Science University
- 6) Department of Microbiology and Immunology, Faculty of Medicine, Hokkaido University
- 7) Department of Life Sciences, Imperial College London

○18-3 SARS-CoV-2 ブレイクスルー感染による広域中和抗体の誘導

桑田岳夫¹⁾、郭 悠²⁾、清水美紀子¹⁾、
Shashwata Biswas¹⁾、松本佳穂¹⁾、
河波陽子¹⁾、Ahmed Hamdy¹⁾、松下修三¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 東京大学医科学研究所

○18-4 Characterization of cross-reactive CD8⁺ T cells targeting SARS-CoV-2 variants in convalescents harboring HLA – A*24:02

李 環宇、仲摩 健、後藤由比古、
有津由樹、上野貴将、本園千尋

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫学分野

○18-5 抗ウイルス活性に優れ、機能的な長期記憶 T 細胞として維持される HLA-C 拘束性 SARS-CoV-2 N 抗原特異的 CD8 陽性 T 細胞応答

本園千尋¹⁾、後藤由比古^{1,2)}、豊田真子¹⁾、
Tan Seng Toong¹⁾、浜名 洋³⁾、
仲摩 健¹⁾、Li Huanyu¹⁾、有津由樹¹⁾、
北松瑞生⁴⁾、岸 裕幸³⁾、富田雄介²⁾、
坂上拓郎²⁾、上野貴将¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫学分野
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学講座
- 3) 富山大学学術研究部医学系免疫学
- 4) 近畿大学理工学部応用化学科

○18-6 P-B3-2 SARS-CoV-2 感染マウスモデルを用いた特定 T 細胞分画の活性化による肺炎抑制機序の解析

黒川理世¹⁾、ムタリ キャスリン¹⁾、
ダニエル イノセント¹⁾、
レダ オムニア²⁾、サコール ワジハ²⁾、
佐藤賢文²⁾、小野昌弘^{3,4)}、野村拓志^{1,5)}

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターウイルス病態学分野
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス学分野
- 3) インペリアル・カレッジ・ロンドン理学部生物学科
- 4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター先進感染症研究教育ユニット
- 5) 国立感染症研究所エイズ研究センター

■日時：11月30日 (土) 8:20 ~ 9:00

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演 19 (社・S)

薬物使用・陽性者支援

座長 青木理恵子

(特定非営利活動法人 CHARM)

牧原信也

(特定非営利活動法人 ぶれいす東京)

○19-1 薬物使用の問題を抱える HIV 陽性者への支援のためのエイズ診療拠点病院と精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討

大木幸子¹⁾、生島 嗣²⁾、樽井正義²⁾

- 1) 杏林大学
- 2) 特定非営利活動法人 ぶれいす東京

一般演題 (口演)

- 19-2 クスリ・ドラッグを使うことがある人と出会うハームリダクション東京のオンラインアウトリーチ事業「OK チャット」: Chemsex することがある人向けのサービスもスタート

古藤吾郎

ハームリダクション東京

- 19-3 HIV 陽性者や LGBTQ+ 当事者のための新しいオンライン依存症自助グループの効果 – 自己効力感に焦点を当てて –

保坂嘉成^{1,2)}、福正大輔¹⁾、中野栄二^{1,3)}、生島 嗣¹⁾

1) ぴれいす東京

2) 西武文理大学看護学部

3) 中央大学法学部

- 19-4 「異性愛者ミーティング」実施報告

大竹 篤¹⁾、折茂 淳¹⁾、加藤力也¹⁾、大島 岳^{1,2)}、生島 嗣¹⁾

1) 特定非営利活動法人ぴれいす東京

2) 明治大学

- 19-5 HIV 陽性者「全国ピアサポート円卓会議」の開催と取り組みの検討

大島 岳^{1,2)}、加藤力也¹⁾、生島 嗣¹⁾、牧原信也¹⁾

1) 特定非営利活動法人ぴれいす東京

2) 明治大学

■日時: 11月30日 (土) 9:10 ~ 9:50

■会場: 第5会場 (3F グレースルーム)

口演20 (社・S)

MSM・PrEP

座長 塩野徳史

(大阪青山大学)

岡本 学

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター医療福祉相談室・HIV 地域医療支援室)

- 20-1 感染症数理モデルによる HIV 感染症における早期 ART の効果の推計

尾又一実¹⁾、今橋真弓²⁾、野田龍也³⁾、土屋亮人¹⁾、谷口俊文⁴⁾

1) 国立国際医療研究センター

2) 国立名古屋医療センター

3) 奈良県立医科大学

4) 千葉大学

- 20-2 mabui 利用におけるセックス相手の関係性によるコンドームの常用率の違い
赤嶺友紀¹⁾、玉城祐貴¹⁾、塩野徳史²⁾

1) nankr 沖縄

2) 大阪青山大学

- 20-3 大阪府検査事業を通じた MSM の STI の実情と PrEP との関係

三上 蓮、石内崇勝、吉田菜乃、坂元奈桜、清水健伍、吉田昂汰

一般社団法人天照会いだてんクリニック

- 20-4 民間クリニックにおけるワンコイン検査事業を通じた PrEP 促進と検査・治療・予防の分離解消 – 誰もが通いやすい STI クリニックを目指して –

清水健伍、石内崇勝、三上 蓮、吉田菜乃、坂元奈桜、吉田昂汰

一般社団法人天照会いだてんクリニック

- 20-5 PrEP 中止に至る事例

谷口 恭

(医) 谷口医院

■日時: 11月30日 (土) 10:00 ~ 10:40

■会場: 第5会場 (3F グレースルーム)

口演21 (基・B)

疫学・病態・薬剤耐性

座長 菊地 正

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

前田賢次

(鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

- 21-1 ショートリード及びロングリード NGS P-B4-9 を併用した HIV-1 重複感染例の解析

林田庸総、川島 亮、湯永博之

国立国際医療研究センター

- 21-2 HIV-1 Vif における宿主タンパク質結合領域の配列多様性に関する研究

大出裕高¹⁾、松田昌和¹⁾、重見 麗¹⁾、山村喜美¹⁾、今橋真弓¹⁾、横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,2)}

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

2) 名古屋大学大学院医学系研究科免疫不全統御学講座

O21-3 国内HIV-1伝播クラスタ動向(SPHNCS分析) 年報 - 2023年

椎野禎一郎^{1,7)}、今橋真弓²⁾、南 留美³⁾、
中村麻子⁴⁾、林田庸総⁵⁾、吉村和久⁶⁾、
菊地 正⁷⁾、杉浦 互¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター臨床研究センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
- 3) 国立病院機構九州医療センター
- 4) 福岡県保健環境研究所保健科学部ウイルス課
- 5) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 6) 東京都健康安全研究センター
- 7) 国立感染症研究所エイズ研究センター

O21-4 HIV-1 サブタイプ A/E 感染者では、なぜ HLA-B57/B58 はエイズ発症遅延に関与しないのか

近田真敬¹⁾、Nguyen The Hung¹⁾、
Zhang Yu¹⁾、Tran Van Giang²⁾、
瀧永博之³⁾、岡 慎一³⁾、滝口雅文¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 国立熱帯病医院、ハノイ、ベトナム
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

O21-5 HIV-1 の高度 dolutegravir (DTG) 耐性発現メカニズムの解明と DTG 耐性 HIV にも高い活性を発揮する阻害剤の開発

青木 学^{1,2,3)}、Debananda Das²⁾、
青木宏美^{2,4)}、満屋裕明^{2,3,5)}

- 1) 熊本保健科学大学・医学検査学科
- 2) NCI/NIH
- 3) 国立国際医療研究センター・難治性ウイルス感染症
- 4) 熊大ヒトレトロウイルス学共同研究センター・造血腫瘍制御学分野
- 5) 熊大病院

■日時：11月30日(土) 10:50～11:30

■会場：第5会場 (3F グレースルーム)

口演22 (基・B)

複製・感染機構

座長 櫻木淳一

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

鈴 伸也

(熊本大学)

O22-1 TMPRSS2 によるレトロウイルスエンベロープタンパク質合成の抑制

関紗由里¹⁾、原田恵嘉¹⁾、山本浩之¹⁾、
宮内浩典^{1,2)}

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 理化学研究所生命医科学研究センター

O22-2 A heterocyclic compound inhibits viral release by inducing cell surface BST2/Tetherin/CD317/HM1.24

Perpetual Nyame¹⁾、Akihiro Togami²⁾、
Tomofumi Yoshida¹⁾、
Takuya Masunaga²⁾、
MST Monira Begum³⁾、
Hiromi Terasawa¹⁾、Nami Monde¹⁾、
Yurika Tahara²⁾、Joyce Appiah-Kubi¹⁾、
Wright Amesimeku¹⁾、
Md Jakir Hossain¹⁾、
Masami Otsuka^{2,4)}、
Kazuhisa Yoshimura⁵⁾、
Terumasa Ikeda³⁾、Tomohiro Sawa¹⁾、
Yorifumi Satou⁶⁾、Mikako Fujita²⁾、
Yosuke Maeda^{1,7)}、Hiroshi Tateishi^{2,8)}、
Kazuaki Monde^{1,9)}

- 1) Department of Microbiology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 2) Medicinal and Biological Chemistry Science Farm Joint Research Laboratory, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 3) Division of Molecular Virology and Genetics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 4) Department of Drug Discovery, Science Farm Ltd., Kumamoto
- 5) Tokyo Metropolitan Institute of Public Health
- 6) Division of Genomics and Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 7) Department of Nursing, Kibi International University
- 8) Research & Development, Hirata Corporation
- 9) Collaboration Unit for Infection, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

○22-3 BST2/Tetherin ノックアウト細胞におけるウイルス複製低下の機構解明

門出和精¹⁾、Perpetual Nyame¹⁾、
芳田 剛^{2,3)}、
Wright Ofotsu Amesimeku¹⁾、
Joyce Appiah-Kubi¹⁾、寺沢広美¹⁾、
門出奈美¹⁾、Md. Jakir Hossain¹⁾、
澤 智裕¹⁾、前田洋助¹⁾

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座
- 2) 国立感染症研究所安全管理研究センター第五室
- 3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

○22-4 HIV 複製において HIV RNA の転写開始点は重要である

芳田 剛^{1,2)}、山本浩之¹⁾、花木賢一²⁾、
俣野哲朗¹⁾、増田貴夫^{3,4)}

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 国立感染症研究所安全管理研究センター
- 3) 千葉工業大学先進工学部生命科学科
- 4) 東京医科歯科大学医歯学総合研究科

○22-5 HIV-1 感染 T 細胞における比較プロテオーム解析

宮内浩典^{1,2)}、関紗由里²⁾、津曲和哉³⁾、
今見考志³⁾

- 1) 国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センター感染免疫研究チーム
- 2) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 3) 国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センタープロテオーム恒常性研究ユニット

一般演題プログラム

(一般演題(ポスター))

*本号(()内)のページ数を掲載しております。

一般演題(ポスター)		プログラム/抄録			
11月28日(木)	ポスター P-B1 (基・B)	複製・感染機構	13:30 ~ 15:30	P.71	P.261
	ポスター P-B2 (基・B)	病態・免疫・ワクチン・リザーバー	13:30 ~ 15:30	P.71	P.263
	ポスター P-B3 (基・B)	レトロウイルス・COVID-19	13:30 ~ 15:30	P.73	P.267
	ポスター P-B4 (基・B)	薬剤・薬剤耐性	13:30 ~ 15:30	P.73	P.269
11月29日(金)			【奇数番号】 8:20 ~ 9:20		
			【偶数番号】 9:20 ~ 10:20		
	ポスター P-C1 (臨・C)	エイジング・メンタルヘルス		P.75	P.273
	ポスター P-C2 (臨・C)	日和見感染・悪性腫瘍・肝炎		P.76	P.279
	ポスター P-C3 (臨・C)	抗HIV療法		P.77	P.284
	ポスター P-C4 (臨・C)	症例報告		P.81	P.297
	ポスター P-C5 (臨・C)	薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス		P.83	P.305
	ポスター P-C6 (臨・C)	看護・長期療養・チーム医療		P.84	P.310
	ポスター P-C7 (臨・C)	U=Uと挙児希望・母子感染・歯科		P.85	P.315
	ポスター P-C8 (臨・C)	SNS・コミュニケーション		P.86	P.318
	ポスター P-C9 (臨・C)	PEP・PrEP・STI・STD		P.86	P.319
ポスター P-C10 (臨・C)	その他		P.87	P.320	
11月29日(金)	ポスター P-S1 (社・S)	行動科学・意識調査	14:30 ~ 16:00	P.87	P.322
	ポスター P-S2 (社・S)	教育	14:30 ~ 16:00	P.88	P.324
	ポスター P-S3 (社・S)	予防・コンドーム・PrEP	14:30 ~ 16:00	P.88	P.327
	ポスター P-S4 (社・S)	MSM	14:30 ~ 16:00	P.89	P.329
	ポスター P-S5 (社・S)	滞在外国人	14:30 ~ 16:00	P.89	P.331
	ポスター P-S6 (社・S)	国際保健	14:30 ~ 16:00	P.90	P.333
	ポスター P-S7 (社・S)	薬物使用・依存	14:30 ~ 16:00	P.90	P.334
	ポスター P-S8 (社・S)	薬害	14:30 ~ 16:00	P.90	P.334
	ポスター P-S9 (社・S)	政策・医療体制	14:30 ~ 16:00	P.91	P.337
	ポスター P-S10 (社・S)	検査・相談体制	14:30 ~ 16:00	P.92	P.341
	ポスター P-S11 (社・S)	カウンセリング	14:30 ~ 16:00	P.93	P.345
	ポスター P-S12 (社・S)	ソーシャルワーク	14:30 ~ 16:00	P.93	P.345
	ポスター P-S13 (社・S)	陽性者支援	14:30 ~ 16:00	P.93	P.348
	ポスター P-S14 (社・S)	人権・倫理・U=U	14:30 ~ 16:00	P.94	P.351
	ポスター P-S15 (社・S)	情報提供	14:30 ~ 16:00	P.94	P.352
	ポスター P-S16 (社・S)	その他	14:30 ~ 16:00	P.95	P.353

一般演題 (ポスター)

■日時：11月28日 (木) 13:30 ~ 15:30

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-B1 (基・B)

複製・感染機構

座長 門出和精

(熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座)

松田幸樹

(鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター抗ウイルス療法研究分野)

P-B1-1 カニクイザル *APOBEC3* 遺伝子の遺伝的多様性と抗ウイルス活性の解析

麦田友佳¹⁾、浦野恵美子²⁾、齊藤 暁³⁾、大出裕高⁴⁾、岩谷靖雅⁴⁾、保富康宏²⁾、池田輝政¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター分子ウイルス学・遺伝学分野
- 2) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター
- 3) 宮崎大学農学部獣医学科
- 4) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

P-B1-2 I型インターフェロンで処理した骨髄性白血病細胞株 THP-1 において、*APOBEC3* タンパク質は感染性ウイルス産生のための HIV-1 Vif の主要な標的である

清水 凌¹⁾、Michael Jonathan^{1,2)}、齊藤 暁³⁾、池田輝政¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 熊本大学医学教育部
- 3) 宮崎大学農学部獣医学科

P-B1-3 CXCR4 多量体形成が関連した HIV-1 WS2-6 感染機序の解明

奥村真由、中村朋文、中田浩智、安永純一郎

熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科学

P-B1-4 O22-1 TMPRSS2 によるレトロウイルスエンベロープタンパク質合成の抑制

関紗由里¹⁾、原田恵嘉¹⁾、山本浩之¹⁾、宮内浩典^{1,2)}

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 理化学研究所生命医科学研究センター

P-B1-5 O22-5 HIV-1 感染 T 細胞における比較プロテオーム解析

宮内浩典^{1,2)}、関紗由里²⁾、津曲和哉³⁾、今見考志³⁾

- 1) 国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センター感染免疫研究チーム
- 2) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 3) 国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センタープロテオーム恒常性研究ユニット

■日時：11月28日 (木) 13:30 ~ 15:30

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-B2 (基・B)

病態・免疫・ワクチン・リザーバー

座長 門出和精

(熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座)

松田幸樹

(鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター抗ウイルス療法研究分野)

P-B2-1 Microbiome Dysbiosis and Partial Recovery in Ghanaian People Living with HIV: A Longitudinal Study

Lucky Ronald Runtuwene^{1,2)}、Prince Kofi Parbie^{3,4)}、Taketoshi Mizutani^{2,5)}、Aya Ishizaka⁵⁾、Saori Matsuoka¹⁾、Christopher Zaab-Yen Abana³⁾、Dennis Kushitor³⁾、Evelyn Yayra Bonney³⁾、Sampson Badu Ofori⁶⁾、Hiroshi Kiyono^{5,7,8)}、Koichi Ishikawa¹⁾、William Kwabena Ampofo³⁾、Tetsuro Matano^{1,5)}

- 1) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan
- 2) Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo, Kashiwa, Japan
- 3) Department of Virology, Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana, Accra, Ghana
- 4) Department of Medicine, Washington University School of Medicine in St. Louis, St. Louis, MO, United States
- 5) The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
- 6) Department of Internal Medicine, Eastern Regional Hospital Koforidua, Ghana Health Service, Koforidua, Ghana
- 7) Institute for Global Prominent Research, Graduate School of Medicine, Chiba University, Chiba, Japan
- 8) Department of Medicine, Chiba University-University of California San Diego Center for Mucosal Immunology, Allergy and Vaccines (cMAV), University of California San Diego, San Diego, CA, United States

**P-B2-2 Env 三量体搭載センダイウイルス粒子
ワクチンによる抗 HIV-1 中和抗体誘導
能の解析**

石井 洋¹⁾、野村拓志^{1,2)}、中村 碧¹⁾、
岡崎みどり¹⁾、西澤雅子¹⁾、黒川理世²⁾、
須崎百合子³⁾、網 康至³⁾、俣野哲朗^{1,2,4)}

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立感染症研究所安全管理研究センター
- 4) 東京大学医科学研究所

**P-B2-3 SIV 中和抗体誘導と関連する Nef 多型
の長期変化**

星野南月^{1,3)}、
Pham Hong Quynh Anh^{1,2)}、
菅野芳明^{1,4)}、小島潮子¹⁾、西澤雅子¹⁾、
芳田 剛¹⁾、Hau Thi Thu Trang¹⁾、
関紗由里¹⁾、俣野哲朗^{1,2,5)}、山本浩之^{1,2,6)}

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 横浜市立大学大学院医学研究科
- 4) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター・感染症分野
- 5) 東京大学医科学研究所
- 6) University Hospital Basel

**P-B2-4 Host genomic landscape in long-
term cART-treated HIV-1 Infection**

Samiul Alam Rajib¹⁾、Kouki Matsuda²⁾、
Wajihah Binti Sakhor¹⁾、Omnia Reda¹⁾、
Sharmin Nahar Sithi¹⁾、
Akhinur Rahman¹⁾、
Benjy Jek Yang Tan¹⁾、
Md Belal Hossain¹⁾、
Shuzo Matsushita³⁾、Kenji Maeda²⁾、
Kiyoto Tsuchiya⁴⁾、Yorifumi Satou¹⁾

- 1) Division of Genomics and Transcriptomics, The Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University.
- 2) The Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kagoshima University.
- 3) Division of Clinical Retrovirology, The Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University.
- 4) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine (NCGM), Tokyo.

**P-B2-5 ミトコンドリア障害によるマイトファ
ージと HIV 潜伏感染再活性化の誘導**

野村亮介¹⁾、松井宏行¹⁾、
Caroline Jelagat¹⁾、松本忠彦¹⁾、
遊佐宏介²⁾、高折晃史¹⁾、白川康太郎¹⁾

- 1) 京都大学大学院医学研究科血液内科
- 2) 京都大学医生物学研究所生命システム研究部門幹細胞遺伝学分野

**P-B2-6 HIV 感染者の加齢に伴う腸内細菌叢の
変化の特徴**

水谷壮利¹⁾、石坂 彩²⁾、古賀道子²⁾、
四柳 宏^{2,3)}

- 1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻
- 2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

**P-B2-7 Construction of a novel antigen-
expression mouse model for
analysis of the HIV reservoir**

Chatherine Silas Mtali¹⁾、
Rise Kurokawa¹⁾、Innocent Daniel¹⁾、
Yasushi Yabuki²⁾、Takushi Nomura^{1,3)}

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 2) Department of Genomic Neurology, Institute of Molecular Embryology and Genetics (IMEG), Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan

**P-B2-8 HIV 残存ウイルスリザーバーが誘導す
る慢性炎症が血管障害を誘発する可能
性**

松田幸樹¹⁾、土屋亮人²⁾、西山尚来³⁾、
小泉吉輝²⁾、Park Hyeongk³⁾、
刈谷龍昇⁴⁾、小形幹子²⁾、中村裕子⁵⁾、
上村修司⁵⁾、岡田誠治⁴⁾、岩見真吾³⁾、
上村 悠²⁾、渡辺恒二^{2,6)}、瀧永博之^{2,4)}、
岡 慎一²⁾、前田賢次¹⁾

- 1) 鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター (ACC)
- 3) 名古屋大学理学研究科 iLab
- 4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 5) 鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学
- 6) 東海大学医学部基礎医学系生体防御学領域

一般演題 (ポスター)

■日時：11月28日 (木) 13:30 ~ 15:30

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-B3 (基・B)

レトロウイルス・COVID-19

座長 門出和精

(熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座)

松田幸樹

(鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター抗ウイルス療法研究分野)

P-B3-1 Intragenic silencer regulates
O17-2 human retrovirus latency by recruiting RUNX1

Akhinur Rahman¹⁾、Kenji Sugata¹⁾、
Koki Niimura¹⁾、Kazuaki Monde²⁾、
Wajihah Sakhor¹⁾、
Sharmin Nahar Sithi¹⁾、
Kiyoto Tsuchiya⁴⁾、
Masahito Tokunaga⁵⁾、
Atae Utsunomiya⁵⁾、
Yoshihisa Yamano³⁾、Masahiro Ono⁶⁾、
Yorifumi Satou¹⁾

1) Division of Genomics and Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan

2) Department of Microbiology, Kansai Medical University, Hirakata, Japan

3) Department of Rare Diseases Research, Institute of Medical Science, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki, Japan

4) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan

5) Department of Hematology, Imamura General Hospital, Kagoshima, Japan

6) Department of Life Sciences, Imperial College London, London, UK

P-B3-2 SARS-CoV-2 感染マウスモデルを用いた
O18-6 特定 T 細胞分画の活性化による肺炎抑制機序の解析

黒川理世¹⁾、ムタリ キャスリン¹⁾、
ダニエル イノセント¹⁾、レダ オムニア²⁾、
サコール ワジハ²⁾、佐藤賢文²⁾、
小野昌弘^{3,4)}、野村拓志^{1,5)}

1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターウイルス病態学分野

2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス学分野

3) インペリアル・カレッジ・ロンドン理学部生物学科

4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター先進感染症研究教育ユニット

5) 国立感染症研究所エイズ研究センター

P-B3-3 Intelli-OVI: A new-generation
O18-2 clinical tool for monitoring SARS-CoV-2 variants

Md Belal Hossain¹⁾、
Yoshikazu Uchiyama²⁾、
Samiul Alam Rajib¹⁾、
Mami Nagashima³⁾、
Mamiyo Kawakami³⁾、Hitoshi Ito³⁾、
Kenji Sadamasu³⁾、Yasuhiro Ogi⁴⁾、
Tatsuya Kawaguchi^{4,5)}、
Tomokazu Tamura⁶⁾、
Takasuke Fukuhara⁶⁾、
Masahiro Ono⁷⁾、
Kazuhisa Yoshimura³⁾、Yorifumi Satou¹⁾

1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス学分野

2) Department of Information and Communication Technology, Faculty of Engineering, University of Miyazaki

3) Department of Microbiology, Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

4) Clinical Laboratory, Center of Kumamoto City Medical Association

5) Department of Medical Technology, Kumamoto Health Science University

6) Department of Microbiology and Immunology, Faculty of Medicine, Hokkaido University

7) Department of Life Sciences, Imperial College London

■日時：11月28日 (木) 13:30 ~ 15:30

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-B4 (基・B)

薬剤・薬剤耐性

座長 門出和精

(熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座)

松田幸樹

(鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター抗ウイルス療法研究分野)

P-B4-1 共有結合性 HIV-1 カプシド阻害剤の開発
と作用機序の解明

中村朋文^{1,2)}、高宗暢暁³⁾、奥村真由¹⁾、
中田浩智¹⁾、安永純一郎¹⁾、天野将之^{1,4)}

1) 熊本大学大学院生命科学研究部・血液、膠原病、感染症内科

2) 熊本大学病院・中央検査部

3) 熊本大学・熊本創生推進機構

4) 熊本第一病院

P-B4-2 血漿中における Lenacapavir 測定系の構築

岩月優菜¹⁾、古屋貴人²⁾、福嶋千穂¹⁾、
森下信一¹⁾、増田純一¹⁾、土屋亮人³⁾、
西村富啓¹⁾、瀧永博之³⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 2) 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部
- 3) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

P-B4-3 HIV-1 カプシドにおける lenacapavir 標的アミノ酸配列保存性に関する解析

松田昌和¹⁾、重見 麗¹⁾、山村喜美¹⁾、
大出裕高¹⁾、今橋真弓¹⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,2)}

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科免疫不全統御学講座

P-B4-4 HIV-1 カプシド阻害剤 Lenacapavir の複製後期過程に対する阻害作用に関する研究

中田佳宏¹⁾、大出裕高¹⁾、久保田舞¹⁾、
小島加奈子¹⁾、瀬戸山由佳¹⁾、松田昌和¹⁾、
重見 麗¹⁾、今橋真弓¹⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,2)}

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科

P-B4-5 Phenotypic Characterization of Replication-Impaired Lenacapavir (LEN) -Resistant HIV Clinical Isolates

Sally Demirdjian¹⁾、Vidula Naik¹⁾、
Nicolas Margot¹⁾、Brie Falkard¹⁾、
Keisuke Harada²⁾、
Christian Callebaut¹⁾

- 1) Gilead Sciences Inc., Foster City, California, USA
- 2) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

P-B4-6 ナノポアシーケンサーによる HIV-1 近全長遺伝子配列の決定と薬剤耐性検査

重見 麗¹⁾、松田昌和¹⁾、山村喜美¹⁾、
大出裕高¹⁾、今橋真弓¹⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,2)}

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科

P-B4-7 Impact of Capsid (CA) Binding Site Polymorphisms on Viral Fitness and the Susceptibility to Lenacapavir (LEN)

Derek Hansen¹⁾、Silvia Chang¹⁾、
Arthur Cai¹⁾、Jason Perry¹⁾、
Thomas Aeschbacher¹⁾、Ross Martin¹⁾、
Yutaka Kobayashi²⁾、Stephen R. Yant¹⁾

- 1) Gilead Sciences Inc., Foster City, California, USA
- 2) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

P-B4-8 O17-4 I7L プロテアーゼ触媒残基に着目した抗モンキーボックスウイルス療法薬の開発展望

高松悠樹¹⁾、鎌田伸好¹⁾、服部真一朗¹⁾、
篠原功紀²⁾、小早川拓也²⁾、辻 耕平²⁾、
玉村啓和²⁾、満屋裕明^{1,3,4)}

- 1) 国立国際医療研究センター研究所
- 2) 東京医科歯科大学
- 3) National Institute of Health
- 4) 熊本大学

P-B4-9 O21-1 ショートリード及びロングリード NGS を併用した HIV-1 重複感染例の解析

林田庸総、川島 亮、瀧永博之

国立国際医療研究センター

一般演題 (ポスター)

■日時：11月29日 (金)

【奇数番号】 8:20 ~ 9:20

【偶数番号】 9:20 ~ 10:20

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-C1 (臨・C)

エイジング・メンタルヘルス

P-C1-1 HIV 感染者における Advance Care Planning の実施率と阻害要因に関する文献検討

岩田真旺¹⁾、青盛真紀²⁾、玉井奈緒²⁾

1) 横浜市立大学医学部看護学科

2) 横浜市立大学医学部看護学科成人看護学領域

P-C1-2 HIV 感染血友病患者に対する悪性腫瘍スクリーニング法確立のための研究の中間報告

上村 悠、小形幹子、井上恵理、安藤尚克、中本貴人、水島大輔、青木孝弘、大金美和、照屋勝治、瀧永博之

国立国際医療研究センター

P-C1-3 日本人 People with HIV (PWH) におけるフレイル有病率とその危険因子に関する臨床検討 (第2報)

仲村秀太¹⁾、高江洲壮¹⁾、前田サオリ²⁾、上 薫³⁾、宮城京子²⁾、白野倫徳⁴⁾、高濱宗一郎⁵⁾、中嶋恵理子⁵⁾、城崎真弓⁵⁾、長與由紀子⁵⁾、犬丸真司⁵⁾、曾我真千絵⁵⁾、猪口 愛⁵⁾、古賀英史⁵⁾、南 留美⁵⁾、山本和子¹⁾

1) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科講座

2) 琉球大学病院看護部

3) 琉球大学病院医療福祉センター

4) 大阪市民病院機構大阪立総合医療センター感染症内科

5) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科

P-C1-4 抗 HIV 療法中の脂質異常に関連する体組成の変化とリポ蛋白リパーゼ (LPL) の意義

松本 彬¹⁾、柳澤邦雄²⁾、小川孔幸¹⁾、半田 寛¹⁾、樋口裕哉³⁾、石崎芳美⁴⁾、城田陽子^{5,6)}、桑原陽子⁵⁾、内海英貴⁷⁾、西山真由美⁸⁾、長澤拓海⁸⁾、葭田明弘⁸⁾、村上正巳⁸⁾、常川勝彦⁸⁾、木村孝穂⁸⁾

1) 群馬大学医学部附属病院血液内科 / 医学系研究科血液内科学

2) 群馬大学医学部附属病院感染制御部

3) 群馬大学医学部附属病院薬剤部

4) 群馬大学医学部附属病院看護部

5) 群馬大学医学部附属病院患者支援センター

6) エイズ予防財団

7) 医療法人社団日高会白根クリニック

8) 群馬大学医学部附属病院検査部 / 医学系研究科臨床検査医学

P-C1-5 HIV 感染者における透析導入の臨床的特徴について

松岡 諒、関谷綾子、佐野宙輝、富永晃輝、相澤陽太、西川ゆかり、福島一彰、鄭 瑞雄、田中 勝、小林泰一郎、今村顕史

地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立駒込病院

P-C1-6 ドラビリンヘススイッチした症例における 96 週までの糖代謝に及ぼす影響に関する調査

中内崇夫¹⁾、矢倉裕輝^{1,2)}、岸田啓太郎¹⁾、廣田和之³⁾、松村拓朗³⁾、上地隆史³⁾、西田恭治³⁾、上平朝子³⁾、吉野宗宏¹⁾、白阪琢磨³⁾、渡邊 大^{2,3)}

1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤部

2) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部

3) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

P-C1-7 横浜市立市民病院に通院し CRP 陽性が持続している HIV 感染者の検討

宮田順之、宗 佑奈、吉村幸浩

横浜市立市民病院

P-C1-8 依存症専門外来の初診 5 年後予後調査における HIV 陽性者についての報告

西村康平、板橋登子、小林桜児

神奈川県立精神医療センター

P-C1-9 HIV 関連神経認知障害 (HAND) における Iowa gambling task の有用性の検討

中尾 綾¹⁾、小西達矢¹⁾、河邊憲太郎²⁾、
加藤潤一¹⁾、越智俊元¹⁾、末盛浩一郎¹⁾、
山之内純¹⁾、竹中克斗¹⁾

1) 愛媛大学大学院血液・免疫・感染症内科学
2) 児童精神医学講座

P-C1-10 新型コロナウイルス感染流行期における HIV 陽性者のメンタルヘルスと社会的孤立、スティグマの関連について

金井講治^{1,2)}、長瀬亜岐³⁾、池田 学²⁾

1) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター
2) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学
3) おひさまクリニック

P-C1-11 ゲイ男性が経験する複合的マイノリティストレス:メンタルヘルス問題と交差性

岐部智恵子¹⁾、翁長祐太²⁾、守安美香子²⁾、
平野真理¹⁾、石丸径一郎¹⁾

1) お茶の水女子大学
2) カラフル@はーと

■日時: 11月29日 (金)

【奇数番号】 8:20 ~ 9:20

【偶数番号】 9:20 ~ 10:20

■会場: 展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-C2 (臨・C)

日和見感染・悪性腫瘍・肝炎

P-C2-1 PLWH における B 型肝炎ワクチン接種後の HBs 抗体の経過

村松 崇、金子 竣、原田侑子、
宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、
近澤悠志、備後真登、関谷綾子、
四本美保子、萩原 剛、天野景裕、
木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

P-C2-2 HIV 感染者の HB ワクチンによる抗体獲得

菅野芳明、後原綾子、安達英輔、
古賀道子、四柳 宏

東京大学医科学研究所感染症分野

P-C2-3 HIV 感染者の B 型肝炎ウイルス既往後における多様かつ解釈困難な抗体パターン

木内 英¹⁾、石倉未緒¹⁾、原田侑子¹⁾、
宮下竜伊¹⁾、山口知子¹⁾、近澤悠志¹⁾、
一木昭人¹⁾、関谷綾子^{1,2)}、備後真登¹⁾、
村松 崇¹⁾、四本美保子¹⁾、萩原 剛¹⁾、
天野景裕¹⁾

1) 東京医科大学臨床検査医学分野
2) がん・感染症センター都立駒込病院

P-C2-4 HIV 診療における肝炎ウイルス重複感染の認識と管理の現状

小西啓司^{1,2)}、松尾裕央¹⁾、白野倫徳²⁾、
忽那賢志¹⁾

1) 大阪大学医学部附属病院感染制御部 / 感染症内科
2) 大阪市立総合医療センター感染症内科

P-C2-5 女性 HIV 陽性者における乳癌の臨床的特徴について

西川ゆかり、関谷綾子、松岡 諒、
佐野宙輝、富永晃輝、相澤陽太、
福島一彰、鄭 瑞雄、田中 勝、
小林泰一郎、今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院

P-C2-6 AIDS 患者の髄液病原体網羅的解析を目的としたマルチプレックス PCR の有用性についての検討

松川敏大^{1,2)}、遠藤知之^{1,2)}、森木朝子^{2,3)}、
長井 惇^{2,3)}、宮島 徹^{2,3)}、長谷川祐太^{1,2)}、
荒 隆英^{1,2)}、後藤秀樹^{1,2)}、豊嶋崇徳^{1,2)}

1) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
2) 北海道大学大学院医学研究科血液内科学
3) エイズ予防財団

P-C2-7 当科で経験した進行性多巣性白質脳症 8 症例の検討

金子 竣¹⁾、村松 崇¹⁾、大崎俊樹¹⁾、
原田侑子¹⁾、宮下竜伊¹⁾、山口知子¹⁾、
一木昭人¹⁾、近澤悠志¹⁾、備後真登¹⁾、
四本美保子¹⁾、萩原 剛¹⁾、天野景裕¹⁾、
中道一生²⁾、木内 英¹⁾

1) 東京医科大学病院臨床検査医学科
2) 国立感染症研究所ウイルス第一部

P-C2-8 抗レトロウイルス療法時代における進行性多巣性白質脳症の症例シリーズ
中本貴人、川島 亮、井上恵理、阿部静太郎、安藤尚克、上村 悠、水島大輔、青木孝弘、照屋勝治、瀧永博之
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

P-C2-9 ART 療法が奏効した難治性サイトメガロウイルス腸炎の 1 例
長谷川祐太¹⁾、遠藤知之^{1,2)}、宮島徹^{1,3)}、長井 惇^{1,3)}、森木朝子^{1,3)}、松川敏大^{1,2)}、荒 隆英^{1,2)}、後藤秀樹^{1,2)}、豊嶋崇徳^{1,2)}
1) 北海道大学病院血液内科
2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
3) エイズ予防財団

P-C2-10 *Fusobacterium nucleatum* による右化膿性股関節炎，肝膿瘍，腸腰筋膿瘍を契機に HIV 感染症と診断された 1 例
高江洲壮¹⁾、仲村秀太²⁾、大槻真理子²⁾、兼久 梢²⁾、山里将慎²⁾、宮城一也²⁾、山本和子²⁾
1) 北部地区医師会病院内科
2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座 (第一内科)

P-C2-11 HIV 感染者に合併した非結核性抗酸菌症の症例
廣田和之、松村拓朗、上地隆史、西田恭治、渡邊 大、上平朝子、白阪琢磨
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

■日時：11月29日 (金)

【奇数番号】8:20 ~ 9:20

【偶数番号】9:20 ~ 10:20

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-C3 (臨・C)

抗HIV療法

P-C3-1 HIV 感染者における骨代謝異常の後方視的検討
戸叶美枝子^{1,2)}、樽本憲人¹⁾、今井一男¹⁾、前崎繁文¹⁾
1) 埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科
2) 埼玉医科大学医学部免疫学

P-C3-2 当院における ART 施行患者のポリファーマシーに関する検討
長澤苑子¹⁾、林田沙綾¹⁾、新井 優¹⁾、眞壁秀樹¹⁾、戸叶美枝子²⁾、今井一男²⁾、樽本憲人²⁾、前崎繁文²⁾
1) 埼玉医科大学病院薬剤部
2) 埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科

P-C3-3 ART 開始後に認める Blip の発現状況と臨床的特徴についての検討
鶴見 寿^{1,2)}、石原正志³⁾、手塚宜行⁴⁾、生駒良和¹⁾、渡辺大地³⁾、杉山仁美⁵⁾、山口公大⁶⁾
1) 岐阜大学医学部附属病院血液感染症内科
2) 松波総合病院血液・腫瘍内科
3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
4) 岐阜大学大学院医学系研究科感染症寄附講座
5) 岐阜大学医学部附属病院看護部
6) 岐阜市民病院血液内科

P-C3-4 抗レトロウイルス療法 (ART) レジメンのアドヒアランスと併用薬剤数との関連：日本のレセプトデータベース研究
内藤俊夫¹⁾、田口 直²⁾、Piao Yi²⁾、Navadeh Soodi³⁾、原田圭輔²⁾、Lee KuanYeh²⁾
1) 順天堂大学医学部総合診療科学講座
2) ギリアド・サイエンシズ株式会社
3) Gilead Sciences Inc.

P-C3-5 HIV 確認検査陽性検体における HIV 薬剤耐性変異とサブタイプ
阪野文哉¹⁾、浜みなみ¹⁾、小島洋子²⁾、森 治代³⁾、川畑拓也¹⁾、菊地 正⁴⁾
1) (地独) 大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課
2) (地独) 大阪健康安全基盤研究所企画部研究企画課
3) 元 (地独) 大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課
4) 国立感染症研究所エイズ研究センター

P-C3-6 2023年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向

菊地 正¹⁾、西澤雅子¹⁾、椎野禎一郎^{1,2)}、
豊嶋崇徳³⁾、伊藤俊広⁴⁾、林田庸総²⁾、
瀧永博之²⁾、古賀道子⁵⁾、長島真美⁶⁾、
貞升健志⁶⁾、佐野貴子⁷⁾、宇野俊介⁸⁾、
谷口俊文⁹⁾、猪狩英俊⁹⁾、寒川 整¹⁰⁾、
中島秀明¹⁰⁾、吉野友祐¹¹⁾、堀場昌英¹²⁾、
茂呂 寛¹³⁾、渡邊珠代¹⁴⁾、今橋真弓¹⁵⁾、
蜂谷敦子¹⁵⁾、松田昌和¹⁵⁾、重見 麗¹⁵⁾、
岡崎玲子¹⁵⁾、岩谷靖雅¹⁵⁾、横幕能行¹⁵⁾、
渡邊 大¹⁶⁾、阪野文哉¹⁷⁾、川畑拓也¹⁷⁾、
藤井輝久¹⁸⁾、高田清式¹⁹⁾、中村麻子²⁰⁾、
南 留美²¹⁾、松下修三²²⁾、仲村秀太²³⁾、
小島潮子¹⁾、Lucky Runtuwene¹⁾、
吉村和久⁶⁾、杉浦 互²⁾

- 1) 国立感染症研究所
- 2) 国立国際医療研究センター
- 3) 北海道大学
- 4) 仙台医療センター
- 5) 東京大学医科学研究所
- 6) 東京都健康安全研究センター
- 7) 神奈川県衛生研究所
- 8) 慶應義塾大学
- 9) 千葉大学
- 10) 横浜市立大学
- 11) 帝京大学
- 12) 東埼玉病院
- 13) 新潟大学
- 14) 石川県立中央病院
- 15) 名古屋医療センター
- 16) 大阪医療センター
- 17) 大阪健康安全基盤研究所
- 18) 広島大学
- 19) 愛媛大学
- 20) 福岡県保健環境研究所
- 21) 九州医療センター
- 22) 熊本大学
- 23) 琉球大学

P-C3-7 HIV 陽性者の薬剤耐性に対する認識

細川陸也¹⁾、井上洋士²⁾、戸ヶ里泰典³⁾、
大島 岳⁴⁾、高久陽介⁵⁾

- 1) 京都大学大学院医学研究科
- 2) (株) アクセライト
- 3) 放送大学
- 4) 明治大学
- 5) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

P-C3-8 能登半島地震における抗 HIV 薬における問題点・課題について ～患者アンケートを通して～

安田明子¹⁾、渡邊珠代²⁾

- 1) 石川県立中央病院薬剤部
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

P-C3-9 Treatment Persistence among Treatment-experienced People with HIV (PWH) Switching to INSTI-based HIV Antiretroviral Regimens

Ching-Yi Chuo^{1,2)}、Mary J Christoph¹⁾、
Woodie Zachry¹⁾、Melanie de Boer¹⁾、
Megan Chen¹⁾、Nao Taguchi²⁾、
Cassidy Trom¹⁾

- 1) Gilead Sciences, Foster City, CA
- 2) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

P-C3-10 当院における HIV 未治療患者に対するドルテグラビル / ラミブジンの使用状況

福島始歩¹⁾、大久保萌香¹⁾、森田優香¹⁾、
白野倫徳²⁾

- 1) 大阪市立総合医療センター薬剤部
- 2) 大阪市立総合医療センター感染症内科

P-C3-11 BIC/TAF/FTC から DTG/3TC へのスイッチ例についての有効性および安全性に関する検討

野村直幸^{1,2)}、河野泰宏^{1,2)}、安岡悠典^{1,2)}、
野田綾香^{1,2)}、高田 遼¹⁾、中村 葵²⁾、
山口沙帆²⁾、片山智之²⁾、門田悦子²⁾、
藤原千尋²⁾、飯塚暁子²⁾、木梨貴博²⁾、
宮内浩希²⁾、山崎由佳²⁾、高橋洋子¹⁾、
濱岡照隆¹⁾、福井洋介^{2,4)}、齋藤誠司^{2,3)}、
坂田達朗^{2,5)}

- 1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター薬剤部
- 2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センターエイズ治療センター
- 3) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター感染症内科
- 4) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター内科
- 5) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター肝臓内科

P-C3-12 当院における DTG/ 3TC 配合錠の有効性および安全性に関する検討

溝端友希¹⁾、宇高 歩¹⁾、藤井一美¹⁾、
石坂敏彦²⁾、小川吉彦³⁾

- 1) 堺市立総合医療センター薬剤科
- 2) 堺市立総合医療センター薬剤技術局
- 3) 堺市立総合医療センター感染症内科

P-C3-13 ベースライン時に低 CD4+ 細胞数または高ウイルス量であった未治療 HIV 患者における DTG+3TC のリアルワールドでの有効性: systematic literature review

細野耕平¹⁾、Emilio Letang²⁾、Tristan J. Barber^{3,4)}、Clotilde Allavena⁵⁾、Laurent Hocqueloux⁶⁾、Jose Casado⁷⁾、Simona Di Giambenedetto⁸⁾、Alfonso Cabello-Ubeda⁹⁾、Antonella d'Arminio Monforte¹⁰⁾、Madhusudan Kabra¹¹⁾、Julie Priest¹²⁾、Ana Milinkovic¹¹⁾、Bryn Jones¹¹⁾

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社
- 2) ViiV Healthcare, Madrid, Spain
- 3) Ian Charleson Day Centre, Royal Free London NHS Foundation Trust, London, UK
- 4) Institute for Global Health, University College London, London, UK
- 5) CHU Hotel-Dieu, Nantes, France
- 6) Centre Hospitalier Universitaire d'Orleans, Orleans, France
- 7) Hospital Universitario Ramon y Cajal, Madrid, Spain
- 8) Fondazione Policlinico Universitario Agostino Gemelli IRCCS and Università Cattolica del Sacro Cuore, Rome, Italy
- 9) Fundacion Jimenez Diaz University Hospital, Madrid, Spain
- 10) San Paolo Hospital, University of Milan, Milan, Italy
- 11) ViiV Healthcare, Brentford, UK
- 12) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA

P-C3-14 選択的血漿交換法がビクテグラビルおよびテノホビルの血中濃度推移に与える影響

松木克仁¹⁾、平野 淳²⁾、山梨領太¹⁾、亀井裕明¹⁾、小崎 華¹⁾、羽柴知恵子³⁾、今橋真弓^{4,5)}、岩谷靖雅⁴⁾、平野隆司¹⁾、横幕能行⁵⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター薬剤部
- 2) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター薬剤部
- 3) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター看護部
- 4) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部
- 5) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター

P-C3-15 Longitudinal Analysis of Preexisting Resistance-Associated Mutations (RAMs) Prior to B/F/TAF Switch

Michelle L. D'Antoni¹⁾、Kristen Andreatta¹⁾、Silvia Chang¹⁾、Jason T. Hindman¹⁾、Laurie VanderVeen¹⁾、Yasuko Watanabe²⁾、Christian Callebaut¹⁾

- 1) Gilead Sciences, Foster City, CA
- 2) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

P-C3-16 Switching to B/F/TAF in a real-world cohort of older people with HIV and a high burden of non-AIDS-related comorbidities

Celia Miralles¹⁾、Berend van Welzen²⁾、Sam McConkey³⁾、Benoit Trottier⁴⁾、Daniel Elbirt⁵⁾、Stefan Scholten⁶⁾、Fabrice Bonnet⁷⁾、Alison Uriel⁸⁾、Rebecca Harrison⁹⁾、Andrea Marongiu⁹⁾、Yusuke Hirabuki¹⁰⁾、Bhumi Gandhi-Patel¹¹⁾、Loredana Sarmati¹²⁾

- 1) Department of Internal Medicine, A Ivaro Cunqueiro Hospital, Vigo, Spain
- 2) Department of Infectious Diseases, University Medical Centre Utrecht, Utrecht, the Netherlands
- 3) RCSI University of Medicine and Health Sciences, Dublin, Ireland
- 4) Clinique de Medecine Urbaine du Quartier Latin, Montreal, Canada
- 5) Kaplan Medical Center and Faculty of Medicine, Hebrew University of Jerusalem, Jerusalem, Israel
- 6) Praxis Hohenstaufenring, Cologne, Germany
- 7) Centre Hospitalier Universitaire de Bordeaux, Bordeaux, France
- 8) Department of Infectious Diseases and Tropical Medicine, North Manchester General Hospital
- 9) Gilead Sciences, Stockley Park, UK
- 10) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan
- 11) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
- 12) Clinical Infectious Diseases, Department of System Medicine, Tor Vergata University, Rome, Italy

P-C3-17 抗 HIV 注射剤 (カボテグラビル+リルピピリン) 導入のための当院での取り組み

樋口裕哉¹⁾、柳澤邦雄²⁾、松本 彬³⁾、小川孔幸³⁾、内海英貴³⁾、半田 寛³⁾、石崎芳美⁴⁾、中村浩規¹⁾、荒木拓也^{1,5)}、山本康次郎^{1,5)}

- 1) 群馬大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 群馬大学医学部附属病院感染制御部
- 3) 群馬大学医学部附属病院血液内科
- 4) 群馬大学医学部附属病院看護部
- 5) 群馬大学医学部附属病院臨床薬理学講座

P-C3-18 長時間作用型注射剤の至適血中濃度達成までに9カ月を要した一例

鈴木麻衣¹⁾、久保田早苗²⁾、青嶋瑞樹²⁾、福井由希子¹⁾、内藤俊夫¹⁾

- 1) 順天堂大学医学部総合診療科学講座
- 2) 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部

P-C3-19 カボテグラビル・リルピビリン持続注射剤使用患者への使用満足度と懸念事項に関する調査

小林瑞季¹⁾、木村涼那¹⁾、長島浩二¹⁾、
増田純一¹⁾、中本貴人²⁾、瀧永博之²⁾、
西村富啓¹⁾

1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

P-C3-20 持効性抗 HIV 注射薬に関する成人 HIV 患者への匿名アンケート調査

木村三奈美¹⁾、成田久美¹⁾、山中亜祐美¹⁾、
高橋宏瑞³⁾、佐々木信一²⁾、室岡邦彦¹⁾、
高瀬久光¹⁾

1) 順天堂大学医学部附属浦安病院薬剤科
2) 順天堂大学医学部附属浦安病院呼吸器内科
3) 順天堂大学医学部附属浦安病院総合診療科

P-C3-21 持効性カボテグラビル + リルピビリン切り替え後 12 ヶ月での PWH の見解 : BEYOND 試験

小塚孝司¹⁾、William Valenti²⁾、
Dima Dandachi³⁾、
Doug Cunningham⁴⁾、Ricky Hsu⁵⁾、
Kaitlin Nguyen⁶⁾、Paula Teichner⁶⁾、
Ashley Jean-Louis⁷⁾、Maria Reynolds⁷⁾、
David Richardson⁷⁾、Cindy Garriss⁶⁾

1) ヴィーブヘルスケア株式会社、東京、日本
2) Trillium Health/University of Rochester, Rochester NY, USA
3) Division of Infectious Diseases, Department of Medicine, University of Missouri-Columbia, MO, USA
4) Pueblo Family Physicians, Phoenix, AZ, USA
5) AHF & NYU Langone Health, New York, NY, USA
6) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA
7) RTI Health Solutions, Research Triangle Park, NC, USA

P-C3-22 実臨床における 2 か月毎の持効性カボテグラビル + リルピビリンの併用 : ドイツ CARLOS コホートの 12 か月のアウトカム

岡本紀子¹⁾、
Celia Jonsson-Oldenbuttel²⁾、
Sebastian Noe²⁾、Christoph Wyen³⁾、
Jan Borch⁴⁾、Kevin Ummard-Berger⁵⁾、
Nils Postel⁶⁾、Stefan Scholten⁷⁾、
Kathrin M. Dymek⁸⁾、
Bernd Westermayer⁹⁾、
Patricia de los Rios¹⁰⁾、
Jenny Scherzer⁸⁾

1) ヴィーブヘルスケア株式会社
2) MVZ Munchen am Goetheplatz, Munich, Germany
3) Praxis am Ebertplatz, Cologne, Germany
4) Praxis Goldstein, Berlin, Germany
5) UBN/Praxis, Berlin, Germany
6) Prinzmed, Practice for Infectious Diseases, Munich, Germany
7) Praxis Hohenstaufenring, Cologne, Germany
8) ViiV Healthcare, Munich, Germany
9) GSK, Munich, Germany
10) ViiV Healthcare, Montreal, Quebec Canada

P-C3-23 カボテグラビル・リルピビリンの持効性注射剤の血中濃度に関する検討 第 2 報

矢倉裕輝¹⁾、中内崇夫²⁾、廣田和之³⁾、
松村拓朗³⁾、上地隆史³⁾、西田恭治³⁾、
上平朝子³⁾、吉野宗宏²⁾、白阪琢磨³⁾、
渡邊 大^{1,3)}

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤部
3) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

P-C3-24 Lenacapavir efficacy in CAPELLA patients with no fully active agents in optimized background regimen

Onyema Ogbuagu¹⁾、
Winai Ratanasuwan²⁾、
Anchalee Avihingsanon³⁾、
Ploenchanch Chetchotisakd⁴⁾、
Andrew Wiznia⁵⁾、Kimberly Workowski⁶⁾、
Chien-Ching Hung⁷⁾、Jason Brunetta⁸⁾、
Benoit Trottier⁹⁾、Mohammed Rassool¹⁰⁾、
Hui Wang¹¹⁾、Nicolas Margot¹¹⁾、
Hadas Dvory-Sobol¹¹⁾、
Yusuke Hirabuki¹²⁾、Martin S. Rhee¹¹⁾、
Sorana Segal-Maurer¹³⁾

1) Yale School of Medicine, New Haven, Connecticut, USA

2) Siriraj Hospital Mahidol University, Bangkok, Thailand

3) HIV-NAT, Thai Red Cross AIDS Research Centre, Bangkok, Thailand

4) Khon Kaen University, Khon Kaen, Thailand

5) Jacobi Medical Center, Albert Einstein College of Medicine, Bronx, New York, NY, USA

6) Emory University, Department of Medicine, Atlanta, GA, USA

7) National Taiwan University Hospital, Taipei, Taiwan

8) Maple Leaf Medical Clinic, Toronto, ON, Canada

9) Clinique de Medecine Urbaine du Quartier Latin, Montreal, Quebec, Canada

10) University of Witwatersrand, Clinical HIV Research Unit, Johannesburg, South Africa

11) Gilead Sciences Inc., Foster City, California, USA

12) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

13) Division of Infectious Diseases, New York - Presbyterian Queens, Flushing, New York

P-C3-25 Efficacy and safety of bictegravir (BIC) plus lenacapavir (LEN) : 48-week outcomes in virologically suppressed (VS) people with HIV-1 (PWH) on complex regimens

Karam Mounzer¹⁾、Jihad Slim²⁾、
Moti Ramgopal³⁾、Malcom Hedgcock⁴⁾、
Mark Bloch⁵⁾、Jorge Santana⁶⁾、
Ines Mendes⁷⁾、Xu Zhang⁷⁾、
Peter Sklar⁷⁾、Keisuke Harada⁸⁾、
Jairo M Montezuma-Rusca⁷⁾、
Sorana Segal-Maurer⁹⁾

1) Philadelphia FIGHT, Philadelphia, PA, USA

2) New York Medical College, Valhalla, NY, USA

3) Midway Immunology and Research Centre, Fort Pierce, USA

4) Spectrum Health, Vancouver, Canada

5) Holdsworth House Medical Practice, Darlinghurst, Australia

6) University of Puerto Rico, San Juan, Puerto Rico

7) Gilead Sciences, Inc., Foster City, USA

8) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

9) New York-Presbyterian Queens, Flushing, USA

■日時：11月29日 (金)

【奇数番号】8:20 ~ 9:20

【偶数番号】9:20 ~ 10:20

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-C4 (臨・C)

症例報告

P-C4-1 進行性の認知機能低下を呈し、COVID-19 再燃を契機に判明した HIV 脳症の一例

今北菜津子¹⁾、山口尚希¹⁾、関根隆博¹⁾、
西村知子¹⁾、梶田明裕²⁾、宇野健司²⁾、
笠原 敬¹⁾

1) 奈良県立医科大学感染症内科学講座

2) 南奈良総合医療センター感染症内科

P-C4-2 持続菌血症と中枢神経感染を伴う播種性 MAC 症に対し治療に難渋した一例

伊藤 涉¹⁾、稲富慎一郎¹⁾、小泉陽介¹⁾、
酒井勇紀¹⁾、山口尚希¹⁾、関根隆博¹⁾、
西原悠二¹⁾、西村知子¹⁾、福盛達也²⁾、
今北菜津子¹⁾、笠原 敬¹⁾

1) 奈良県立医科大学感染症内科学講座

2) 八尾市立病院感染症内科

P-C4-3 複数の日和見感染症を合併し難治性病態を呈した AIDS 症例に対し、内科・外科治療を行い救命できた一例

堀江健太¹⁾、末盛浩一郎¹⁾、桑原 希¹⁾、
中川進平²⁾、乗松真大²⁾、中尾 綾¹⁾、
宮崎雅美³⁾、若松 綾³⁾、高田清式⁴⁾、
竹中克斗¹⁾

1) 愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学

2) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部

3) 愛媛大学医学部附属病院看護部

4) 愛媛大学医学部附属病院地域医療支援センター

P-C4-4 B 細胞性リンパ腫と T 細胞性リンパ腫の同時発症を認め診断、治療に難渋した AIDS リンパ腫の剖検例

横山翔大¹⁾、鈴木陶磨¹⁾、山川知宏¹⁾、
金澤沙衣²⁾、佐々木育子³⁾、濱名かおる³⁾、
田中亜里紗³⁾、小川健一郎⁴⁾、築田昌明⁴⁾、
菊地慶介⁵⁾、遠藤知之^{6,7)}、若狭健太郎¹⁾

1) 帯広厚生病院血液内科

2) 帯広厚生病院薬剤部

3) 帯広厚生病院看護部

4) 帯広厚生病院医療社会事業科

5) 帯広厚生病院病理診断科

6) 北海道大学病院血液内科

7) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター

P-C4-5 抗結核薬との相互作用を考慮して ART を変更した 1 例

藤井健司¹⁾、石井聡一郎¹⁾、山崎尚也²⁾、
藤井輝久^{2,3)}、松尾裕彰¹⁾

- 1) 広島大学病院薬剤部
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院エイズ医療対策室

P-C4-6 注射製剤を選択した初診から 30 年目・薬剤耐性 HIV 感染症の 1 例

坂部茂俊¹⁾、大久保知洋¹⁾、小池隆介¹⁾、
田中宏幸¹⁾、服部公紀²⁾、森尾志保³⁾、
村田 舞³⁾、藤井典善⁴⁾

- 1) 伊勢赤十字病院
- 2) 伊勢赤十字病院薬剤部
- 3) 伊勢赤十字病院看護部
- 4) 伊勢赤十字病院医療社会事業部

P-C4-7 血液透析施行中の重度腎機能障害患者にビクトルビ配合錠を使用した症例

蕪木素代子¹⁾、築地茉莉子¹⁾、服部憲幸²⁾、
山崎伸吾¹⁾、谷口俊文³⁾、猪狩英俊³⁾、
石井伊都子¹⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 千葉大学医学部附属病院人工腎臓部
- 3) 千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部

P-C4-8 服薬アドヒアランス向上を目的に DTG + ABC + 3TC レジメン 1 日 2 回服用から 1 日 1 回服用へ変更した小児 HIV 感染児の一例・続報

住吉健太¹⁾、田中裕章¹⁾、川田通子²⁾、
加嶋真恵²⁾、吉田陽子²⁾、大田佐代子²⁾、
小田優子³⁾、早川幸子⁴⁾、内田俊平⁵⁾、
岩瀬孝志⁶⁾、小坂信二¹⁾

- 1) 香川大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 香川大学医学部附属病院看護部
- 3) 香川大学医学部附属病院医療支援課
- 4) 香川大学医学部附属病院臨床栄養部
- 5) 香川大学医学部附属病院血液内科
- 6) 香川大学医学部附属病院小児科

P-C4-9 ART の変更により HIV のウイルスリバウンドをきたした PML 合併 HIV 感染症の 1 例

堀場昌英

国立病院機構東埼玉病院

P-C4-10 タクロリムス軟膏使用中にコビシス タット含有レジメンから非含有レジメンへ変更した症例

日笠真一¹⁾、島袋翔多¹⁾、秀田恭子¹⁾、
石原香子¹⁾、仲井俊行¹⁾、日笠 聡²⁾、
澤田暁宏²⁾、徳川多津子²⁾、木村 健¹⁾

- 1) 兵庫医科大学病院薬剤部
- 2) 兵庫医科大学病院血液内科

P-C4-11 20 年前には無効であった補中益気湯が倦怠感に対し奏効した PLWH の一例

一木昭人^{1,2)}、矢数芳英^{2,3)}、大崎俊樹¹⁾、
金子 竣¹⁾、原田侑子¹⁾、宮下竜伊¹⁾、
山口知子¹⁾、近澤悠志¹⁾、備後真登¹⁾、
村松 崇¹⁾、四本美保子¹⁾、萩原 剛¹⁾、
天野景裕¹⁾、木内 英¹⁾

- 1) 東京医科大学病院臨床検査医学科
- 2) 東京医科大学病院漢方医学センター
- 3) 東京医科大学病院麻酔科

P-C4-12 ART 後 AST,ALT 値が上昇し免疫再構築症候群を疑った HIV,HCV,HBV 共感染の 1 例

坂部茂俊¹⁾、大久保知洋¹⁾、小池隆介¹⁾、
田中宏幸¹⁾、服部公紀²⁾、森尾志保³⁾

- 1) 伊勢赤十字病院
- 2) 伊勢赤十字病院薬剤部
- 3) 伊勢赤十字病院看護部

P-C4-13 HIV-2 gp140(ENV) が陽性になった、梅毒の 1 例

五十棲一男¹⁾、松崎里美²⁾

- 1) 足利赤十字病院内科
- 2) 足利赤十字病院内科看護師

P-C4-14 ART 開始後も HIV ウイルス量高値が持続した *Mycobacterium simiae* 菌血症の 1 例

大谷真理子^{1,2)}、横尾卓也¹⁾、森 岳雄³⁾、
佐藤高広³⁾、前田 正³⁾、塚田真弓²⁾、
平山 忍¹⁾、宮崎泰斗^{2,3)}、吉澤定子^{4,5)}、
舘田一博^{2,4,5)}、松本高広¹⁾

- 1) 東邦大学医療センター大森病院薬剤部
- 2) 東邦大学医療センター大森病院感染管理部
- 3) 東邦大学医療センター大森病院総合診療・急病センター
- 4) 東邦大学医療センター大森病院臨床検査部
- 5) 東邦大学医学部微生物・感染症学講座

P-C4-15 肛門周囲膿瘍を合併した HIV 陽性者の一例

彼谷裕康

富山県立中央病院感染症内科

P-C4-16 蛋白尿を契機に診断された HIV 関連免疫複合腎臓病合併キャスルマン病の一例

中村信元¹⁾、宮上慎司²⁾、荒井優子³⁾、
泉 侑希⁴⁾、岡本秀樹⁵⁾、北上早紀³⁾、
後藤さおり⁴⁾、後藤由香⁵⁾、菅 俊行⁶⁾、
高橋真理⁴⁾、富永誠記⁵⁾、矢野由美子⁴⁾、
三木浩和⁷⁾

1) 徳島大学大学院医歯薬学実践地域診療・医科学分野

2) 徳島大学病院腎臓内科

3) 徳島大学病院がん診療連携センター

4) 徳島大学病院感染制御部

5) 徳島大学病院患者支援センター

6) 徳島大学大学院医歯薬学実践地域診療・再生歯科治療学分野

7) 徳島大学病院輸血・細胞治療部

P-C4-17 初期研修医として経験した肺カポジ肉腫の症例

田中崇貴、木内 英、天野景裕、村松 崇、
萩原 剛、四本美保子、備後真登、近澤悠志、
一木昭人、山口知子、宮下竜伊、原田侑子、
大崎俊樹

東京医科大学病院

■日時：11月29日 (金)

【奇数番号】8:20 ~ 9:20

【偶数番号】9:20 ~ 10:20

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-C5 (臨・C)

薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス

P-C5-1 通院患者数 200 名未満の中核拠点病院でのカボテグラビル注 / リルピビル注の導入と経過、今後の問題点

宇高 歩¹⁾、溝端友希¹⁾、藤井一美¹⁾、
村田賢哉²⁾、長谷川耕平²⁾、小川吉彦²⁾

1) 堺市立総合医療センター薬剤科

2) 堺市立総合医療センター感染症内科

P-C5-2 抗 HIV 薬の服薬忘れに関する因子の検討

片山早樹子¹⁾、石橋幹雄¹⁾、富永正樹²⁾、
西山さおり³⁾、室谷健太⁴⁾、五百路徹也⁴⁾、
松岡昌信⁵⁾、樋口恭子¹⁾

1) 久留米大学病院薬剤部

2) 久留米大学医学部地域医療連携講座

3) 久留米大学病院看護部

4) 久留米大学バイオ統計センター

5) 久留米大学病院医療連携センター

P-C5-3 九州医療センターにおける ART 変更時の意思決定支援の状況調査

合原嘉寿¹⁾、山口泰弘^{2,3)}、橋本雅司^{2,3)}、
鈴田浩考¹⁾、中嶋恵理子^{3,4)}、高濱宗一郎^{3,4)}、
南 留美^{3,4)}

1) NHO 嬉野医療センター薬剤部

2) NHO 九州医療センター薬剤部

3) NHO 九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター

4) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科

P-C5-4 当院における抗 HIV 薬簡素化への取り組みと薬剤師の関わりについて

大田久美子¹⁾、上原 仁¹⁾、諸見牧子¹⁾、
仲村秀太²⁾、潮平英郎¹⁾、宮城京子³⁾、
前田サオリ³⁾、石郷岡美穂⁴⁾、上 薫⁴⁾、
玉城美波⁵⁾、饒平名聖⁶⁾、山川奈津子⁶⁾、
新里尚美⁷⁾、金城隆展⁸⁾、中村克徳¹⁾

1) 琉球大学病院薬剤部

2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科

3) 琉球大学病院看護部

4) 琉球大学病院医療福祉センター

5) 琉球大学病院精神科神経科

6) 琉球大学病院検査・輸血部

7) 琉球大学病院第一内科

8) 琉球大学病院地域・国際医療部

P-C5-5 HIV 薬剤師外来の有用性の検討

安岡悠典^{1,2)}、野村直幸^{1,2)}、河野泰宏^{1,2)}、
野田綾香^{1,2)}、高田 遼¹⁾、中村 葵²⁾、
山崎由佳²⁾、山口沙帆²⁾、片山智之²⁾、
宮内浩希²⁾、門田悦子²⁾、藤原千尋²⁾、
飯塚暁子²⁾、木梨貴博²⁾、高橋洋子¹⁾、
濱岡照隆¹⁾、福井洋介^{2,4)}、齊藤誠司^{2,3)}、
坂田達朗^{2,5)}

1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター薬剤部

2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター広島県東部地区エイズ治療センター

3) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター感染症内科

4) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター内科

5) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター肝臓内科

P-C5-6 当院の HIV 感染症診療における薬剤師の取り組み

神尾咲留未¹⁾、小川孔幸²⁾、加藤由佳理¹⁾、篠原友理³⁾、斎藤明生⁴⁾、澤村守夫⁵⁾、金井貴充¹⁾

- 1) 国立病院機構渋川医療センター薬剤部
- 2) 群馬大学医学部附属病院血液内科
- 3) 国立病院機構渋川医療センター看護部
- 4) 国立病院機構渋川医療センター血液内科
- 5) 国立病院機構渋川医療センター臨床研究部

P-C5-7 薬剤師の訪問薬剤管理指導が抗 HIV 薬のアドヒアランス維持に有効だった一例

越智由希¹⁾、宮田広樹²⁾、吉友 葵³⁾、加藤英明⁴⁾

- 1) 日本調剤株式会社市大福浦薬局
- 2) 日本調剤株式会社薬剤本部教育情報部
- 3) 横浜市立大学附属病院薬剤部
- 4) 横浜市立大学附属病院血液リウマチ感染症内科

P-C5-8 保険薬局従業員における HIV 感染症・エイズに関する認識の実態調査～内閣府「HIV 感染症・エイズに関する世論調査 平成 30 年 1 月調査」との比較～

海老昌子¹⁾、白井莉和子¹⁾、野口梨紗¹⁾、澤田智世¹⁾、富澤星華¹⁾、中村文哉²⁾、阿部真也²⁾、五十嵐健祐²⁾、松井 洸³⁾、山口 浩³⁾、野村和彦³⁾、阿部憲介⁴⁾、小原 拓⁵⁾

- 1) 株式会社ツルハ調剤薬局ツルハドラッグ白金台店
- 2) 株式会社ツルハ
- 3) ツルハ HD
- 4) 国立病院機構盛岡医療センター薬剤科
- 5) 東北大学病院薬剤部

P-C5-9 抗 HIV 薬服用者の OTC 医薬品や健康食品の使用状況からの知見

後藤啓之¹⁾、小本健博²⁾、谷澤直樹³⁾

- 1) ココカラファイン薬局曙橋店
- 2) 株式会社 MCC マネジメント
- 3) 株式会社 マツキヨココカラ&カンパニー

P-C5-10 コロナ渦における保険薬局での HIV 感染症患者のフォローアップについて

島田淳史

スエヤス調剤薬局文京店

■日時：11月29日 (金)

【奇数番号】8:20～9:20

【偶数番号】9:20～10:20

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-C6 (臨・C)

看護・長期療養・チーム医療

P-C6-1 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報 健康状態と生活状況の概要

白阪琢磨¹⁾、川戸美由紀²⁾、橋本修二³⁾、三重野牧子⁴⁾、天野景裕⁵⁾、大金美和⁶⁾、岡本 学¹⁾、瀧永博之⁶⁾、日笠 聡⁷⁾、八橋 弘⁸⁾、渡邊 大¹⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) 国立保健医療科学院
- 3) 藤田医科大学
- 4) 自治医科大学
- 5) 東京医科大学
- 6) 国立国際医療研究センター
- 7) 兵庫医科大学病院
- 8) 国立病院機構長崎医療センター

P-C6-2 薬害 HIV 感染被害患者の悪性腫瘍罹患に関する心理職へのアンケート調査

福田あかり¹⁾、古賀道子^{1,2)}、田中貴大²⁾、石坂 彩¹⁾、保坂 隆^{2,3)}、四柳 宏^{1,2)}

- 1) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 3) 保坂サイコオンコロジー・クリニック

P-C6-3 血友病による運動機能障害に配慮した車椅子の製作モニタリング事業報告～ HIV 長期療養支援事業～

片田圭一¹⁾、南 雅子¹⁾、渡邊珠代²⁾、石井智美³⁾、北野義明⁴⁾、西出恵里⁵⁾、越田春奈⁵⁾

- 1) 石川県立中央病院リハビリテーション室
- 2) 石川県立中央病院診療部
- 3) 石川県立中央病院看護部
- 4) 石川県リハビリテーションセンターバリアフリー推進工房
- 5) 石川県健康福祉部健康推進課

P-C6-4 HIV 拠点病院における HIV 診療チームの有効性の検討

西山さおり¹⁾、松岡昌信²⁾、片山早樹子³⁾、石橋幹雄³⁾、山本 朱⁴⁾、戸川芳枝⁵⁾、室谷健太⁶⁾、五百路徹也⁶⁾、三浦美穂⁷⁾、森田信介⁷⁾、富永正樹⁸⁾

- 1) 久留米大学病院看護部
- 2) 久留米大学病院医療連携センター
- 3) 久留米大学病院薬剤部
- 4) 久留米大学病院栄養部
- 5) 福岡県 HIV 派遣カウンセラー
- 6) 久留米大学バイオ統計センター
- 7) 久留米大学病院感染制御部
- 8) 久留米大学医学部地域医療連携講座

P-C6-5 HIV 患者の生活様式、合併症及び認知機能の変化に伴う諸課題にチーム医療連携の推進が寄与した一症例

寺本奈都子¹⁾、成田 雅²⁾、向井美穂子²⁾、渡慶次真由美²⁾、屋良 愛³⁾、松田絵理菜³⁾、安次富大³⁾、坂本政文³⁾、喜屋武芳美³⁾、佐藤雅美³⁾、宮里早香³⁾

- 1) すこやか薬局新川店
- 2) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- 3) (株)薬正堂すこやかグループ

P-C6-6 能登半島地震における HIV 陽性患者への治療継続支援を実施した一例

石井智美¹⁾、車 陽子¹⁾、浅田裕子¹⁾、渡邊珠代²⁾

- 1) 石川県立中央病院看護部
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

P-C6-7 高齢独居患者の多職種連携による転院支援

渡慶次真由美¹⁾、向井三穂子¹⁾、前田すぎの¹⁾、成田 雅²⁾、新里尚美³⁾、寺本奈都子⁴⁾

- 1) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター看護部
- 2) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター医局
- 3) 琉球大学病院第一内科
- 4) すこやか薬局新川店

P-C6-8 HIV 外来診療における患者ニーズの検討—電子問診票導入時に行った患者調査から

後藤志保¹⁾、喜花伸子²⁾、重信英子²⁾、山崎尚也³⁾、坂本涼子¹⁾、獅子田由美¹⁾、芳本和子¹⁾、杉本悠貴恵²⁾、藤井輝久^{2,3)}

- 1) 広島大学病院看護部
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 3) 広島大学病院輸血部

P-C6-9 壮年期にある AIDS/HIV 感染者が、繰り返し通院自己中断する原因と患者心情

小林あずさ

がん・感染症センター駒込病院

■日時：11月29日 (金)

【奇数番号】8:20 ~ 9:20

【偶数番号】9:20 ~ 10:20

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-C7 (臨・C)

U=Uと拳児希望・母子感染・歯科

P-C7-1 妊娠初期 HIV スクリーニング陰性妊婦への妊娠中期から後期健診での HIV 再検査の実施状況

吉野直人¹⁾、伊藤由子²⁾、岩動ちず子²⁾、小山理恵²⁾、菊池琴佳²⁾、幅野 涉²⁾、高橋尚子^{1,2)}、杉浦 敦²⁾、田中瑞恵²⁾、出口雅士²⁾、高野政志²⁾、喜多恒和²⁾

- 1) 岩手医科大学医学部微生物学講座感染症学・免疫学分野
- 2) 「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班

P-C7-2 HIV 感染妊婦において経膈分娩が可能となった後の医療スタッフの経膈分娩に対する心理的不安の程度と現時点での経膈分娩の均霑化に関する検討

林 公一^{1,13)}、出口雅士^{2,13)}、五味洵秀人^{3,13)}、蓮尾泰之^{4,13)}、定月みゆき^{5,13)}、杉野裕子^{6,13)}、羽柴知恵子^{7,13)}、中西美紗緒^{5,13)}、中西 豊^{8,13)}、中野真希^{9,13)}、杉浦 敦^{10,13)}、吉野直人^{11,13)}、喜多恒一^{12,13)}

- 1) 国立病院機構専門医療センター
- 2) 神戸大学大学院医学研究科地域社会医学健康科学講座地域医療ネットワーク学分野
- 3) 吉田産科婦人科医院
- 4) 国立病院機構九州医療センター
- 5) 国立国際医療研究センター
- 6) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究センター
- 7) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 8) 国立病院機構名古屋療養センター
- 9) 横浜市立市民病院
- 10) 日本赤十字社武蔵野赤十字病院
- 11) 岩手医科大学医学部微生物学講座感染症学・免疫学分野
- 12) 奈良県総合医療センター
- 13) 「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班

一般演題 (ポスター)

P-C7-3 ART中に口腔領域に悪性リンパ腫が発現したHIV感染者の2例

宇佐美雄司¹⁾、小田知生¹⁾、横幕能行²⁾

1) 名古屋医療センター歯科口腔外科
2) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター

P-C7-4 本邦における近年のHIV感染妊娠の背景に関する検討

湊 怜子¹⁾、杉浦 敦^{1,2)}、竹田善紀²⁾、
山中彰一郎²⁾、市田宏司²⁾、中西美紗緒²⁾、
箕浦茂樹²⁾、高野政志²⁾、桃原祥人²⁾、
小林裕幸²⁾、藤田 綾²⁾、高橋尚子²⁾、
出口雅士²⁾、田中瑞恵²⁾、喜多恒和²⁾、
吉野直人²⁾

1) 武蔵野赤十字病院
2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を
含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制
の整備と均てん化のための研究」班

P-C7-5 共有意思決定により母乳哺育をおこなったHIV陽性女性の一例

吉村幸浩、宗 祐奈、宮田順之

横浜市立市民病院感染症内科

P-C7-6 妊娠中に発覚したHIV感染妊婦に対するわが国の管理状況の変遷

竹田善紀^{1,2)}、杉浦 敦²⁾、湊 怜子²⁾、
山中彰一郎²⁾、市田宏司²⁾、中西美紗緒²⁾、
箕浦茂樹²⁾、高野政志²⁾、桃原祥人²⁾、
小林裕幸²⁾、藤田 綾²⁾、田中瑞恵²⁾、
出口雅士²⁾、喜多恒和²⁾、吉野直人²⁾

1) 日本大学医学部病態病理学系微生物学分野
2) HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査
を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制
の整備と均てん化のための研究班

P-C7-7 感染コントロール良好なHIV感染女性が帝王切開で出産し母乳栄養を行った一例

久保徳彦

別府医療センター総合診療科

■日時：11月29日 (金)

【奇数番号】8:20～9:20

【偶数番号】9:20～10:20

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-C8 (臨・C)

SNS・コミュニケーション

P-C8-1 日本におけるHIV/AIDS関連のステイグマを検証するためのX (旧Twitter)を用いたレトロスペクティブ研究

井上洋士¹⁾、高久陽介²⁾、Piao Yi³⁾、
田口 直³⁾、原田圭輔³⁾、平原国博³⁾、
Austin John⁴⁾、塩澤結衣⁵⁾、鄭 耘非⁵⁾、
Lee KuanYeh³⁾

1) 株式会社アクセライト
2) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンプ
ラス
3) ギリアド・サイエンシズ株式会社
4) Gilead sciences Inc.
5) デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

P-C8-2 HIV感染症治療における病病連携の重要性と転院相談のための医療情報提供書の活用

福地貴彦

自治医科大学附属さいたま医療センター総合診療科

■日時：11月29日 (金)

【奇数番号】8:20～9:20

【偶数番号】9:20～10:20

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-C9 (臨・C)

PEP・PrEP・STI・STD

P-C9-1 当院におけるHIV感染症合併梅毒の検討

柴田 怜¹⁾、霍間勇人²⁾、番場祐基²⁾、
青木信将²⁾、知久照眞^{1,4)}、新保明日香¹⁾、
川口 玲³⁾、茂呂 寛¹⁾

1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部
2) 新潟大学医歯学総合病院呼吸器・感染症内科
3) 新潟大学医歯学総合病院看護部外来医科
4) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント

P-C9-2 若年層における性感染症の実態と対策：パーソナルヘルスクリニックの調査結果から

栃丸冬羽、塩尻大輔

パーソナルヘルスクリニック

一般演題 (ポスター)

■日時：11月29日 (金)

【奇数番号】8:20～9:20

【偶数番号】9:20～10:20

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-C10 (臨・C)

その他

P-C10-1 包括的凝固機能検査による HIV 感染者の凝固機能に関する検討

渡邊 大^{1,2,3)}、西田恭治^{2,4)}、矢倉裕輝^{1,5)}、
藤原綾乃¹⁾、武山雅博⁴⁾、矢田弘史⁶⁾、
廣田和之²⁾、松村拓朗²⁾、上地隆史²⁾、
上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 3) 大阪大学大学院医学系研究科エイズ先端医療学
- 4) 国立病院機構大阪医療センター血友病科
- 5) 国立病院機構大阪医療センター薬剤部
- 6) 奈良県立医科大学総合周産期母子医療センター

P-C10-2 HIV 陰性および HIV 陽性の血友病患者の口腔環境と口腔機能の評価

岡田美穂¹⁾、新谷智章²⁾、川越麻衣子¹⁾、
岩田倫幸³⁾、山崎尚也⁴⁾、藤井輝久⁴⁾、
柴 秀樹⁵⁾

- 1) 広島大学病院診療支援部歯科部門
- 2) 広島大学病院口腔検査センター
- 3) 広島大学大学院医学系科学研究科歯周病態学研究室
- 4) 広島大学病院輸血部
- 5) 広島大学大学院医学系科学研究科歯髄生物学研究室

P-C10-3 診療所における HIV 感染症診療 — 第 17 報

根岸昌功、河村祐貴子、河野小夜子、
西岡春菜

ねぎし内科診療所

■日時：11月29日 (金) 14:30～16:00

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S1 (社・S)

行動科学・意識調査

P-S1-1 HIV 陽性者の人生に対する満足にボディイメージが及ぼす影響

松本武士^{1,2,3)}、稲葉瑛美³⁾、星野藍子³⁾

- 1) 平成医療福祉グループ D&I 推進室
- 2) 大内病院
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻

P-S1-2 北陸地方における HIV 陽性者の孤独感と精神的健康の関連

上條槇子^{1,2,3)}、谷内 通²⁾、久保かおり³⁾、
渡邊珠代³⁾

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 金沢大学
- 3) 石川県立中央病院

P-S1-3 費用に関する認識とその関連因子： 患者報告アウトカム多施設共同研究

山本有紀¹⁾、竹松茂樹¹⁾、日笠真一²⁾、
石原正志³⁾、築地茉莉子⁴⁾、國本雄介⁵⁾、
登佳寿子⁶⁾、木村文司⁷⁾、治田匡平⁸⁾、
柏原陽平⁹⁾、藤井健司¹⁰⁾、永井聡子¹⁾

- 1) 国立病院機構姫路医療センター薬剤部
- 2) 兵庫医科大学病院薬剤部
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 千葉大学医学部附属病院薬剤部
- 5) 札幌医科大学附属病院薬剤部
- 6) 神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部
- 7) 神戸大学医学部附属病院薬剤部
- 8) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- 9) 京都第一赤十字病院薬剤部
- 10) 広島大学病院薬剤部

P-S1-4 長時間作用型注射剤導入後の PLWH の意識の変化に関する調査

青嶋瑞樹¹⁾、久保田早苗¹⁾、鈴木麻衣²⁾、
内藤俊夫²⁾

- 1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部
- 2) 順天堂大学医学部総合診療科学講座

一般演題 (ポスター)

■日時：11月29日 (金) 14:30 ~ 16:00

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S2 (社・S) 教育

P-S2-1 看護学を専攻する大学生の薬害エイズ事件に関する理解の課題

木下真里¹⁾、後藤智己²⁾、岩野友里²⁾、
柿沼章子²⁾、武田飛呂城²⁾

- 1) 高知県公立大学法人高知県立大学
- 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

P-S2-2 東京都エイズ・ピア・エデュケーション事業におけるエデュケーター育成に関する分析と今後の展望

藤澤 楽^{1,2)}、島田 恵^{2,5)}、清水崇志^{2,7)}、
進藤亜子^{2,6)}、堂元奈津子²⁾、原田明裕²⁾、
柳沢雅子^{1,4)}、宮石奉枝³⁾、渡會睦子^{1,4)}

- 1) 東京医療保健大学医療保健学部看護学科
- 2) 東京都エイズ・ピア・エデュケーション事業 (スーパーバイザー)
- 3) 東京都保健医療局感染症対策部防疫課 (エイズ相談事業担当)
- 4) 住民とともに活動する保健師の会
- 5) 東京都立大学健康福祉学部看護学科
- 6) 地方独立行政法人東京都立病院機構がん・感染症センター都立駒込病院
- 7) 千葉大学大学院看護学研究科

P-S2-3 コロナ禍におけるオンライン版 HIV 教育ワークショップの開発ならびに実施<実践報告>

鈴木有佳^{1,2,3)}、木皿楓子¹⁾、吉田美穂¹⁾、
安井優香¹⁾、西山美希³⁾

- 1) HIV/AIDS Action Team At SHARE (HAATAS)
- 2) 慶應義塾大学
- 3) シェア=国際保健協力市民の会

P-S2-4 若年層の性感染症ならびに HIV 母子感染に対する意識調査と対象を加味した効果的な情報発信方法の検討

浅見悠可¹⁾、前川祐哉¹⁾、小川瑞貴¹⁾、
金野 遥¹⁾、齊藤舞桜¹⁾、藤田奈津実¹⁾、
伊東 響¹⁾、奈良本千朋¹⁾、千田結理¹⁾、
根本紗希¹⁾、鮎川美涼¹⁾、吉野直人^{2,6)}、
喜多恒和^{3,6)}、羽柴知恵子^{4,6)}、高野政志^{5,6)}、
蜂谷敦子¹⁾

- 1) 新渡戸文化短期大学臨床検査学科
- 2) 岩手医科大学医学部
- 3) 奈良県総合医療センター産婦人科
- 4) 国立病院機構名古屋医療センター
- 5) 防衛医科大学校 産科婦人科学講座
- 6) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班

P-S2-5 通訳基礎技術とロールプレイ演習を含む感染症医療通訳研修の取り組み

宮首弘子¹⁾、沢田真志²⁾、北島 勉³⁾、
Tran Thi Hue⁴⁾、青木理恵子⁵⁾、
飯島佐智子⁶⁾、草間久美⁶⁾

- 1) 杏林大学外国語学部
- 2) 神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所
- 3) 杏林大学総合政策学部
- 4) 神戸女子大学文学部
- 5) NPO 法人 CHARM
- 6) 特定非営利活動法人多言語リソースかながわ事務局

P-S2-6 学校薬剤師と HIV 感染症専門薬剤師による性感染症予防啓発教育を目指した薬薬連携の可能性と課題

阿部憲介¹⁾、石井聡一郎²⁾、槇田崇志³⁾、
大道淳二⁴⁾、畝井浩子⁵⁾、嶋根卓也⁶⁾、
矢倉裕輝⁷⁾、伊藤俊広⁸⁾

- 1) 国立病院機構盛岡医療センター薬剤科
- 2) 広島大学病院薬剤部
- 3) 岡山大学病院薬剤部
- 4) 岡山赤十字病院薬剤部
- 5) T&T タウンファーマ株式会社
- 6) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
- 7) 国立病院機構大阪医療センター薬剤部
- 8) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科

P-S2-7 関西の女子大学における HIV/AIDS 教育の現状：2024 年度シラバスをもとに

中尾賀要子¹⁾、三宅弘晃²⁾

- 1) 武庫川女子大学教育総合研究所
- 2) 武庫川女子大学文学部

■日時：11月29日 (金) 14:30 ~ 16:00

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S3 (社・S) 予防・コンドーム・PrEP

P-S3-1 個人輸入代行を利用する PrEP ユーザーによるレビューからみる PrEP の状況

小川夏実、本間隆之

山梨県立大学看護学部

P-S3-2 実践報告：MSM のセクシュアルヘルス向上を図るためのブログ形式情報発信プログラム「HIVmap POST」

矢島 嵩、柴田 恵、加藤悠二、
宇都宮雄馬、阿部甚兵、岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

一般演題 (ポスター)

P-S3-3 PrEP 開始後に HIV 感染が判明した 10 例に関する後方視的研究

桑田 亮、水島大輔、高野 操、
小泉吉輝、阿部静太郎、川島 亮、
井上恵理、安藤尚克、上村 悠、
中本貴人、青木孝弘、照屋勝治、
瀧永博之

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

P-S4-4 コミュニティセンター akta における、 来場者数についての考察

木南拓也^{1,2)}、本間隆之³⁾、藤原孝大^{1,2)}、
岩橋恒太¹⁾

- 1) NPO 法人 akta
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 山梨県立大学看護学部

■日時：11月29日 (金) 14:30 ~ 16:00

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S4 (社・S)

MSM

P-S4-1 東海地域におけるゲイ・バイセクシュ アル男性を対象にした HIV/STI 検査行 動と啓発普及方法の検討

高久道子¹⁾、金子典代²⁾、石田敏彦³⁾、
藤浦裕二³⁾、塩野徳史⁴⁾

- 1) 岐阜保健大学
- 2) 名古屋市立大学
- 3) ANGEL LIFE NAGOYA
- 4) 大阪青山大学

P-S4-2 コミュニティセンター akta に郵送検 査キットを受け取りに来た外国籍 MSM の検査行動の把握

高久道子¹⁾、岩橋恒太²⁾、金子典代³⁾、
荒木 順²⁾、木南拓也²⁾、高野 操⁴⁾、
本間隆之⁵⁾、生島 嗣⁶⁾

- 1) 岐阜保健大学
- 2) 特定非営利活動法人 akta
- 3) 名古屋市立大学
- 4) 国立国際医療研究センター・エイズ治療・研究開発センター
- 5) 山梨県立大学
- 6) 認定特定非営利活動法人ぶれいす東京

P-S4-3 ゲイ CBO によるセクシュアルヘルス 向上に関する取り組み —中四国地方 でのクリニック検査事業—

八木貴博¹⁾、新山 賢¹⁾、大山治彦^{1,2)}、
塩野徳史^{1,3,4)}、高田清式⁵⁾、和田秀穂⁶⁾

- 1) 一般社団法人カラフルドットライフ
- 2) 四国学院大学社会福祉学部
- 3) 大阪青山大学看護学部看護学科
- 4) MASH 大阪 / コミュニティセンター dista
- 5) 愛媛大学医学部附属病院
- 6) 川崎医科大学血液内科学

■日時：11月29日 (金) 14:30 ~ 16:00

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S5 (社・S)

滞在外国人

P-S5-1 HIV/AIDS awareness and test- taking behavior among Nepalese

Supriya Shakya¹⁾、Aliza KC Bhandari²⁾、
Prakash Shakya³⁾、Sandeep Shakya⁴⁾、
Tsutomu Kitajima⁵⁾

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) St. luke's University, Graduate school of public health, Tokyo, Japan
- 3) Independent Researcher
- 4) Kawakita General Hospital, Department of cardiology, Tokyo, Asagaya, Japan
- 5) Faculty of Social Sciences, Kyorin University, Tokyo, Japan

P-S5-2 来日する HIV 陽性者が治療を継続できる ために必要なこと

竹野 翠¹⁾、青木理恵子¹⁾、松浦基夫^{1,2)}、
白野倫徳^{1,3)}

- 1) 特定非営利活動法人 CHARM
- 2) 中村クリニック
- 3) 大阪市立総合医療センター感染症内科

P-S5-3 自治体における外国人の HIV への対応 状況に関する研究

北島 勉¹⁾、沢田貴志²⁾、宮首弘子³⁾、
Hue Tran Thi⁴⁾、城所敏英⁵⁾

- 1) 杏林大学総合政策学部
- 2) 港町診療所
- 3) 杏林大学外国語学部
- 4) 神戸女子大学文学部
- 5) 元新宿東口検査相談室

一般演題 (ポスター)

P-S5-4 Optimizing Sexual Health for All – A Qualitative Study to Identify Barriers and Facilitators to HIV and STI testing among International Migrants in Japan

李 春燕¹⁾、Russell Miller²⁾、弓野 綾²⁾、北島 勉³⁾

- 1) 東京大学東京カレッジ
- 2) 東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学
- 3) 杏林大学総合政策学部

P-S5-5 Self-reported HIV testing behaviors among migrants in Okinawa, Japan

チャン フェ¹⁾、北島 勉²⁾、沢田貴志³⁾、宮首弘子⁴⁾、仲村秀太⁵⁾、新里尚美⁶⁾、Supriya Shakya⁷⁾、Li Chunyan⁸⁾

- 1) 神戸女子大学
- 2) 杏林大学総合政策学部
- 3) 神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所
- 4) 杏林大学外国語学部
- 5) 琉球大学医学部
- 6) 沖縄県感染症診療ネットワーク
- 7) 公益財団法人エイズ予防財団
- 8) 東京大学東京カレッジ

■日時：11月29日 (金) 14:30 ~ 16:00
■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S6 (社・S)
国際保健

P-S6-1 北ベトナムにおける HIV・HCV 共感染に関する研究

田沼順子¹⁾、杉山真也²⁾、竹内泰江³⁾

- 1) 国際医療福祉大学医学部感染症学講座
- 2) 国立国際医療研究センター感染病態研究部
- 3) 国立国際医療研究センター肝炎情報センター

■日時：11月29日 (金) 14:30 ~ 16:00
■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S7 (社・S)
薬物使用・依存

P-S7-1 HIV 陽性者・薬物使用者および支援者等に向けた情報提供資料の作成：「健康問題」としての薬物使用に対応するために

徐 淑子¹⁾、生島 嗣²⁾、樽井正義²⁾

- 1) 新潟県立看護大学
- 2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

■日時：11月29日 (金) 14:30 ~ 16:00
■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S8 (社・S)
薬害

P-S8-1 血液製剤による HIV 感染者の調査成績第 2 報 不健康割合の推移

川戸美由紀¹⁾、三重野牧子²⁾、橋本修二³⁾、天野景裕⁴⁾、大金美和⁵⁾、岡本 学⁶⁾、瀧永博之⁵⁾、日笠 聡⁷⁾、八橋 弘⁸⁾、渡邊 大⁶⁾、白阪琢磨⁶⁾

- 1) 国立保健医療科学院
- 2) 自治医科大学
- 3) 藤田医科大学
- 4) 東京医科大学
- 5) 国立国際医療研究センター
- 6) 国立病院機構大阪医療センター
- 7) 兵庫医科大学病院
- 8) 国立病院機構長崎医療センター

P-S8-2 血液製剤による HIV 感染者の調査成績第 3 報 悩みやストレスとこころの状態の関連

三重野牧子¹⁾、川戸美由紀²⁾、橋本修二³⁾、天野景裕⁴⁾、大金美和⁵⁾、岡本 学⁶⁾、瀧永博之⁵⁾、日笠 聡⁷⁾、八橋 弘⁸⁾、渡邊 大⁶⁾、白阪琢磨⁶⁾

- 1) 自治医科大学情報センター
- 2) 国立保健医療科学院
- 3) 藤田医科大学
- 4) 東京医科大学
- 5) 国立国際医療研究センター
- 6) 国立病院機構大阪医療センター
- 7) 兵庫医科大学病院
- 8) 国立病院機構長崎医療センター

P-S8-3 血友病薬害エイズ被害者等の集まり～「集い」の成り立ちと 2 年間の参加経験から～

葛田衣重、猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院感染制御部

P-S8-4 血友病感染被害者に対する在宅就労支援：事例報告

田端 聡¹⁾、ライアン千穂¹⁾、久地井寿哉²⁾、岩野友里²⁾、柿沼章子²⁾、菊池庸介³⁾、田中良明³⁾、武田飛呂城³⁾

- 1) NPO 法人リンパカフェ
- 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 3) NPO 法人在宅就労支援事業団

一般演題 (ポスター)

P-S8-5 薬害 HIV 感染被害者の安心安全な長期療養のためのソーシャルサポートネットワークの整備～通院状況と健康関連 QOL に関する検討

久地井寿哉、柿沼章子、岩野友里、
武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

P-S8-6 薬害 HIV 感染被害者の安心安全な長期療養のためのソーシャルサポートネットワークの整備～社会実装に向けた支援ツール開発：“支援みつもりヤドカリ君”のアプリ開発事例

岩野友里、柿沼章子、久地井寿哉、
武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

■日時：11月29日（金） 14:30～16:00

■会場：展示ポスター会場（4F 花BCD）

ポスター P-S9（社・S）

政策・医療体制

P-S9-1 HIV 感染症患者の療養支援に関する Ns と MSW の協働について～第 3 回 Ns と MSW の協働シンポジウムのアンケート結果から～

三嶋一輝¹⁾、大金美和²⁾、宮城京子³⁾、
木梨貴博⁴⁾、石井智美⁵⁾、高橋昌也²⁾、
杉野祐子²⁾、葛田衣重⁶⁾、瀧永博之²⁾

1) 福井大学医学部附属病院
2) 国立国際医療研究センター病院
3) 琉球大学病院
4) 福山医療センター
5) 石川県立中央病院
6) 千葉大学医学部附属病院

P-S9-2 北海道ブロック「HIV/AIDS 出張研修」12 年間の実践報告

渡部恵子^{1,2)}、センチノ田村恵子^{2,3)}、
遠藤知之^{2,4)}、武内阿味^{1,2)}、熊谷泰恵^{1,2)}、
石田陽子^{2,3)}、尾谷ゆか²⁾、山口みなみ²⁾、
北村末季²⁾、松川敏大^{2,4)}、長谷川祐太^{2,4)}、
後藤秀樹^{2,4)}、豊嶋崇徳^{2,4)}、三宅垂矢^{1,2)}

1) 北海道大学病院看護部
2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
3) エイズ予防財団
4) 北海道大学病院血液内科

P-S9-3 HIV 診療の均てん化を目指した群馬県の取り組み～非拠点病院での ART 処方の方の拡充～

石崎芳美¹⁾、小川孔幸²⁾、柳澤邦雄³⁾、
松本 彬²⁾、中村聡洋¹⁾、佐藤未和¹⁾、
樋口祥子¹⁾、小林恵子¹⁾、大谷貴子¹⁾、
樋口裕也⁴⁾、城田陽子⁵⁾、桑原陽子⁵⁾、
斉藤那津美⁶⁾、江口奈々⁶⁾、櫻井昇幸⁶⁾、
内海英貴⁷⁾、半田 寛²⁾

1) 群馬大学医学部附属病院看護部
2) 群馬大学医学部附属病院血液内科
3) 群馬大学医学部附属病院感染制御部
4) 群馬大学医学部附属病院薬剤部
5) 群馬大学医学部附属病院患者支援センター
6) 群馬県健康福祉部・疾病対策課疾病対策係
7) 医療法人社団日高会白根クリニック

P-S9-4 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針（平成 30 年 1 月 18 日）に定められた各種施策の実施状況に関する自治体調査結果（H30～R04）

塚田訓久¹⁾、松下修三²⁾

1) 埼玉医科大学総合医療センター
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

P-S9-5 演題取り下げ

P-S9-6 奈良県南部における HIV 急性期から慢性期の医療体制整備の 1 事例

宇野健司¹⁾、梶田明裕¹⁾、森安博文²⁾

1) 南和広域医療企業団南奈良総合医療センター
2) 南和広域医療企業団五條病院

P-S9-7 UNAIDS 95-95-95 推計法の日本における最適化に関する検討

田沼順子¹⁾、Stuart Gilmour²⁾

1) 国際医療福祉大学医学部感染症学講座
2) 聖路加国際大学公衆衛生大学院

一般演題 (ポスター)

■日時：11月29日 (金) 14:30～16:00

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S10 (社・S)

検査・相談体制

P-S10-1 ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」のサイト利用状況および新規ウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」の開設について

佐野貴子¹⁾、土屋菜歩²⁾、渡邊大地¹⁾、須藤弘二³⁾、近藤真規子³⁾、星野慎二⁴⁾、井戸田一郎⁵⁾、清水茂徳⁶⁾、生島 嗣⁷⁾、岩橋恒太⁸⁾、今井光信⁹⁾、加藤真吾³⁾、市川誠一¹⁰⁾、白阪琢磨¹¹⁾、今村顕史¹²⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 3) 株式会社ハナ・メディテック
- 4) 特定非営利活動法人 SHIP
- 5) しらかば診療所
- 6) 東日本国際大学
- 7) 特定非営利活動法人 びれいす東京
- 8) 特定非営利活動法人 akta
- 9) 田園調布学園大学
- 10) 金城学院大学
- 11) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 12) 東京都立駒込病院

P-S10-2 常設夜間休日検査相談場 (スマートらいふネット) における「通訳付き外国人検査相談事業」の取り組みの現状と協働体制について

毛受矩子、熊本光代、上林孝子、大角順子、徳永羊子、沢田恵美子、折井由美子、宮本伸枝、若狭明美、鎌田美恵子、藤本佳子、高田由紀子、榎田智仁

NPO 法人スマートらいふネット

P-S10-3 新宿区の HIV・性感染症検査事業の取組

石川有紀¹⁾、宮城亮佑²⁾、本多真理子¹⁾、斎藤将智¹⁾、小柳 淳¹⁾、田中健太¹⁾、小川智詠子¹⁾、武藤正治¹⁾、渡邊愛可¹⁾、石原美千代¹⁾

- 1) 新宿区保健所
- 2) 新宿区障害者福祉課

P-S10-4 地方衛生研究所における HIV 確認検査に関するアンケート調査結果

川畑拓也¹⁾、阪野文哉¹⁾、浜みなみ¹⁾、長島真美²⁾、河上麻美代²⁾、貞升健志²⁾、佐野貴子³⁾、近藤真規子⁴⁾、須藤弘二⁴⁾、加藤真吾⁴⁾、今村顕史⁵⁾

- 1) (地独) 大阪健康安全基盤研究所
- 2) 東京都健康安全研究センター
- 3) 神奈川県衛生研究所
- 4) (株) ハナ・メディテック
- 5) 東京都立駒込病院

P-S10-5 保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査

土屋菜歩¹⁾、佐野貴子²⁾、城所敏英³⁾、川畑拓也⁴⁾、貞升健志⁵⁾、須藤弘二⁶⁾、加藤真吾⁶⁾、大木幸子⁷⁾、生島 嗣⁸⁾、今井光信⁹⁾、今村顕史¹⁰⁾

- 1) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 2) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 3) 東京都新宿東口検査・相談室
- 4) 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所
- 5) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 6) 株式会社ハナ・メディテック
- 7) 杏林大学保健学部
- 8) 特定非営利活動法人 びれいす東京
- 9) 田園調布学園大学
- 10) がん・感染症センター都立駒込病院

P-S10-6 保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査

土屋菜歩¹⁾、佐野貴子²⁾、城所敏英³⁾、川畑拓也⁴⁾、貞升健志⁵⁾、須藤弘二⁶⁾、加藤真吾⁶⁾、大木幸子⁷⁾、生島 嗣⁸⁾、今井光信⁹⁾、今村顕史¹⁰⁾

- 1) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 2) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 3) 東京都新宿東口検査・相談室
- 4) 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所
- 5) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 6) 株式会社ハナ・メディテック
- 7) 杏林大学保健学部
- 8) 特定非営利活動法人 びれいす東京
- 9) 田園調布学園大学
- 10) がん・感染症センター都立駒込病院

P-S10-7 HIV 郵送検査に関する実態調査 (2023)

須藤弘二¹⁾、佐野貴子²⁾、近藤真規子¹⁾、今井光信³⁾、今村顕史⁴⁾、加藤真吾¹⁾

- 1) 株式会社ハナ・メディテック
- 2) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 3) 田園調布学園大学
- 4) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

一般演題 (ポスター)

P-S10-8 HIV 検査・相談室サークルさっぽろにおける相談を鍵とした社会的支援の分析～北海道札幌市に一つだけある民間運営の検査相談施設の意義～

坂本玲子¹⁾、沼田栗実¹⁾、武田飛呂城²⁾、柿沼章子²⁾、久地井寿哉²⁾

1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団北海道支部
2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

■日時：11月29日 (金) 14:30～16:00

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S11 (社・S)
カウンセリング

P-S11-1 抑うつ尺度を用いた HIV 患者におけるカウンセリング適用者スクリーニングの試み

大友 健¹⁾、木村聡太¹⁾、瀧永博之¹⁾、照屋勝治¹⁾、加藤 温²⁾、小松賢亮³⁾、池田和子¹⁾、大金美和¹⁾、杉野祐子¹⁾、鈴木ひとみ¹⁾、谷口 紅¹⁾、大杉福子¹⁾、野崎宏枝¹⁾、佐藤愛美¹⁾

1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
2) 国立国際医療研究センター病院精神科
3) 和光大学現在人間学部

■日時：11月29日 (金) 14:30～16:00

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S12 (社・S)
ソーシャルワーク

P-S12-1 HIV 感染症患者の長期療養を支える取り組み～千葉県 HIV 福祉サービスネットワーク会議より～

葛田衣重、猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院感染制御部

P-S12-2 常設 LGBTQ センター「プライドセンター大阪」および「LGBTQ+ と HIV 等に関するコミュニティセンター協議会」の取り組み

長野友彦

特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ

P-S12-3 当地域における介護施設の HIV 感染者受入に関する実態調査

木梨貴博、坂田達朗、齊藤誠司、福井洋介、片山智之、五十川容子、山崎由佳、中村 葵、飯塚暁子、藤原千尋、野村直幸、河野泰宏、安岡悠典、宮内浩希

独立行政法人国立病院機構福山医療センター

P-S12-4 HIV 患者の転院先の選択肢を広げるために～大学病院が地域医療機関へ出向く役割について～

池田岳司¹⁾、鈴木 豊¹⁾、伊藤真亜沙¹⁾、木内 英²⁾、天野景裕²⁾、宮下竜伊²⁾

1) 東京医科大学病院総合相談・支援センター
2) 東京医科大学病院臨床検査医学科

P-S12-5 HIV 陽性者を初めて受け入れた施設で対応苦慮された事例 - 患者さんを支える施設を拠点病院がどう支えるか、地域支援者と拠点病院の関係性を再確認する -

大里文誉¹⁾、首藤美奈子¹⁾、南 留美¹⁾、長與由紀子²⁾、曾我真千恵¹⁾

1) 国立病院機構九州医療センター
2) 国立病院機構九州医療センター看護部

P-S12-6 HIV 陽性者の地域支援ネットワーク体制構築を目指した取り組み

首藤美奈子¹⁾、田邊瑛美^{1,2)}、大里文誉¹⁾、南 留美¹⁾、田村賢二^{1,2)}

1) 九州医療センター
2) 福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課

■日時：11月29日 (金) 14:30～16:00

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S13 (社・S)
陽性者支援

P-S13-1 HIV 陽性者とその周囲の人と確認検査結果待ちの人向けの相談事業における、新規相談者の傾向について

牧原信也、生島 嗣、福原寿弥、折茂 純、村崎美和

特定非営利活動法人ぶれいす東京

P-S13-2 HIV 陽性者が抱える慢性疾患および心身の自覚症状の実態

戸ヶ里泰典¹⁾、井上洋士²⁾、大島 岳³⁾、
細川陸也⁴⁾、高久陽介⁵⁾

- 1) 放送大学
- 2) (株) アクセライト
- 3) 明治大学
- 4) 京都大学
- 5) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

P-S13-3 HIV 陽性者におけるレクリエーション的ドラッグの使用とソーシャルサポート・ストレス対処力との関連：Futures Japan 第3回調査より

戸ヶ里泰典¹⁾、井上洋士²⁾、高久陽介³⁾、
大島 岳⁴⁾、阿部桜子⁵⁾、細川陸也⁶⁾、
塩野徳史⁷⁾、米倉佑貴⁸⁾、片倉直子⁹⁾、
山内麻江¹⁰⁾、井上智史¹⁴⁾、関由起子¹²⁾、
若林チヒロ¹¹⁾、大木幸子¹³⁾

- 1) 放送大学
- 2) (株) アクセライト
- 3) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 明治大学
- 5) (株) TIS
- 6) 京都大学
- 7) 大阪青山大学
- 8) 聖路加国際大学
- 9) 神戸市看護大学
- 10) 目白大学
- 11) 埼玉県立大学
- 12) 埼玉大学
- 13) 杏林大学
- 14) 九州大学

P-S13-4 HIV 陽性者の高齢期における生活支援モデルの提案

永易至文

特定非営利活動法人パープル・ハンズ

P-S13-5 若年 HIV 陽性判明者が最初の外部相談先を模索する上でのコミュニティの役割～事例報告

小吹文紀^{1,2,3)}、小吹文貴^{2,3,4)}

- 1) 武庫川女子大学文学部
- 2) 非営利 NGO パートナー共済
- 3) 株式会社ダイバースパートナーズ
- 4) R&C 株式会社

P-S13-6 HIV 陽性当事者の、社会保障制度と民間保険加入に対する認識とその課題

小吹文紀^{1,2,3)}、小吹文貴^{2,4)}、三宅弘晃¹⁾、
中尾賀要子⁵⁾、銭谷尋乃^{2,3)}

- 1) 武庫川女子大学文学部
- 2) 非営利 NGO パートナー共済
- 3) 株式会社ダイバースパートナーズ
- 4) R&C 株式会社
- 5) 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科

■日時：11月29日 (金) 14:30～16:00

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S14 (社・S)

人権・倫理・U=U

P-S14-1 U=U の知識の有無が、HIV 陽性者とセックスするという判断にどのような影響を与えるのか？～MSM を対象とした全国 Web 調査 (第2回 LASH 調査) から

山口正純¹⁾、三輪岳史²⁾、大槻知子²⁾、
生島 嗣²⁾、樽井正義†²⁾

- 1) 長寿リハビリセンター病院内科
- 2) ぶれいす東京

■日時：11月29日 (金) 14:30～16:00

■会場：展示ポスター会場 (4F 花BCD)

ポスター P-S15 (社・S)

情報提供

P-S15-1 HIV・エイズに関するマスメディアの報道とソーシャルメディアの反応の近況

吉松芙美

早稲田大学

P-S15-2 HIV 検査会のあらたな実施環境の開拓～新宿二丁目ワンコイン検査会の会場選定における実践報告

銭谷尋乃¹⁾、小吹文紀^{1,2,3)}、小吹文貴^{1,2,4)}

- 1) 非営利 NGO パートナー共済
- 2) 株式会社ダイバースパートナーズ
- 3) 武庫川女子大学文学部
- 4) R&C 株式会社

一般演題 (ポスター)

P-S15-3 MSM コミュニティの当事者団体と行政、医療・研究機関が一堂に会して協働する、コミュニケーションの実施体制の構築、運営から改善の試みまで

山本朋範、吉松芙美、吉見逸郎、齋藤智也

国立感染症研究所

■日時：11月29日（金） 14:30～16:00

■会場：展示ポスター会場（4F 花BCD）

ポスター P-S16（社・S）

その他

P-S16-1 日本国内にける HIV の安全保障化過程— 80 年代の自民党と厚生省の認識と対策—

六郷正隆

早稲田大学大学院政治学研究科